Victor "HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

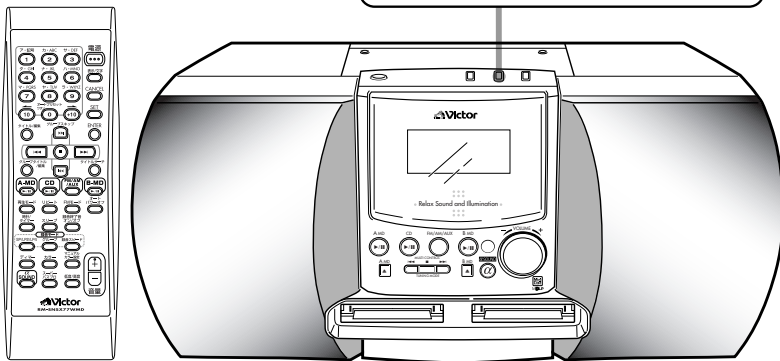
コンパクトコンポーネントMDシステム

型名 NS-X77WMD

● デモ表示について

表示窓のデモ表示を「入⇔切」することができます。デモ表示に入らないようにする場合は、電源「切」のとき本体のCOLOR/DEMOボタンを押してください。「DEMO MODE OFF!」が表示され解除されます。詳しくは13ページをご覧ください。

COLOR/ DEMO

● もくじは2ページにあります。

ーお買いあげありがとうございますー

⚠ご使用の前に

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3～6ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0980-001B

もくじ

お使いになる前に　ページ

準備　ページ

聞く　ページ

録音する(B MD)　ページ

編集する(リモコンを使います)　ページ

タイマー・オートパワーオフを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 ―はじめにお読みください―

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､｢死亡または重傷を負う可能性が想定される｣内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､｢傷害を負ったり物的損害が想定される｣内容を示しています。

●絵表示の説明

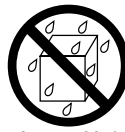
注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

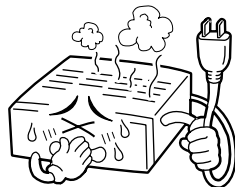
行為を指示する記号

一般的指示

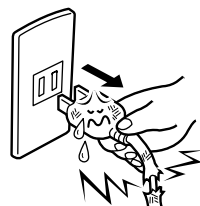
電源プラグを抜く

⚠警告

万一､次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

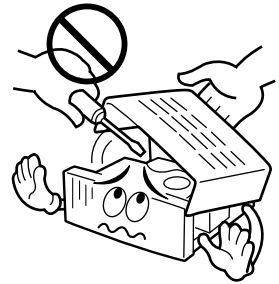
- 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

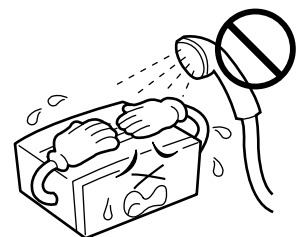
電源プラグを抜く

すぐに電源を｢切｣にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

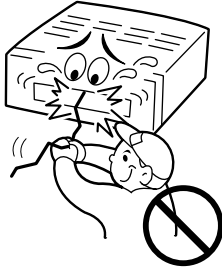
火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

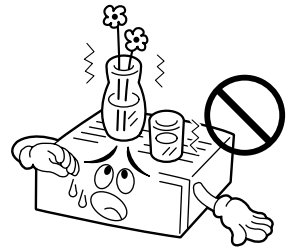
分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

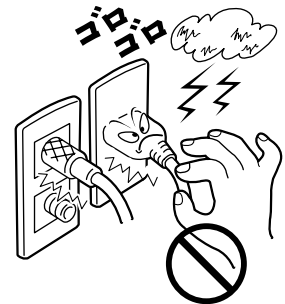
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

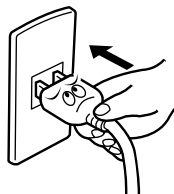
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

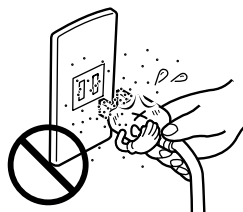
感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

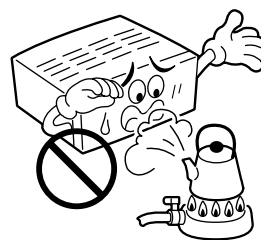
⚠注意

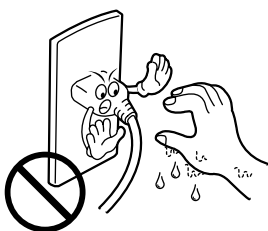
電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

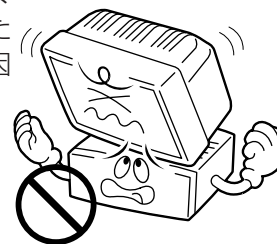
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

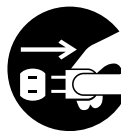
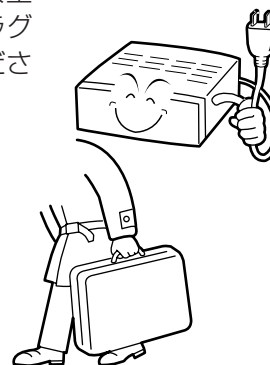
感電の原因となることがあります。

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

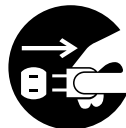
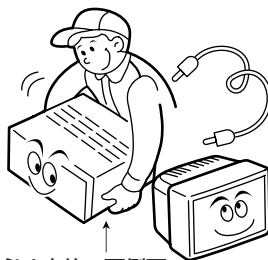
電源プラグを抜く

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

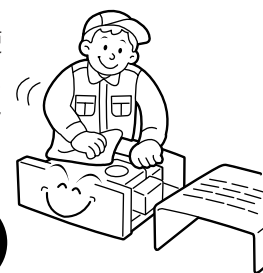
手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

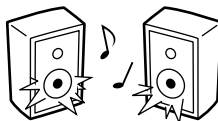
必ず本体の両側面の下部を持つ

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

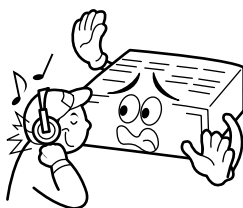
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

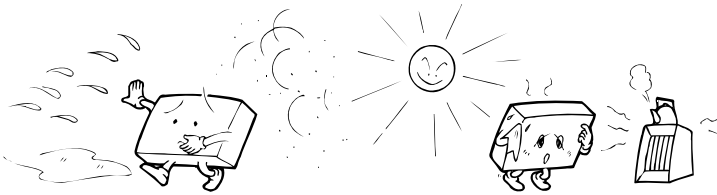
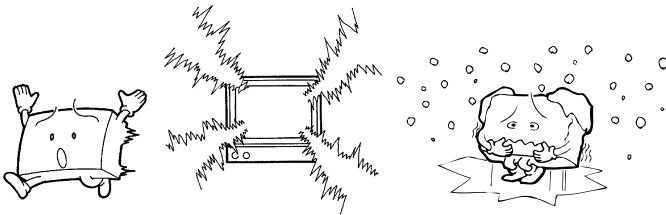
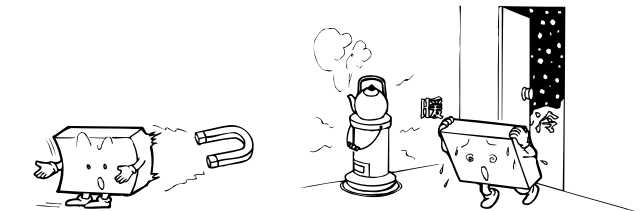
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機やCD、MDの置き場所について

- 故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露(水滴)が付いてCDやMDが正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

ヘッドホンについて

- ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

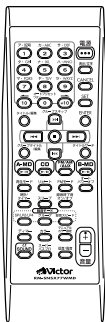
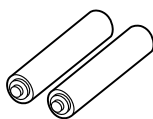
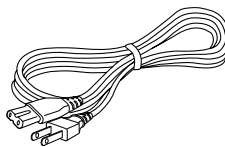
■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

本機を移動するときは

本機を移動するときは、必ず本体下部の両側(図の矢印部分)を持ってください。
他の部分を持つと指が滑って落下したりけがの原因となります。

お使いになる前に

付属品の確認

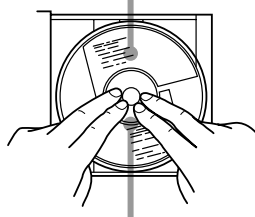
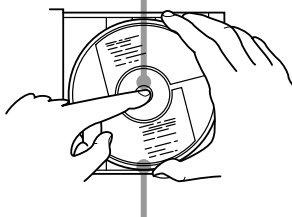
お使いになる前に付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SNSX77WMD
（1個）

単3形乾電池
（2本）(リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

CDについて

CDの取り扱いかた

● ケースからの出し入れ

● CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
● CDは曲げないでください。

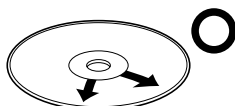
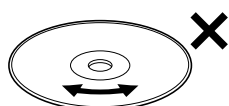
● 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
● ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

● 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
● MP 3 には対応しておりません。
● CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
● ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
● 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

CDのお手入れ

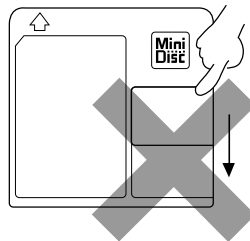
演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

● シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MDについて

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで

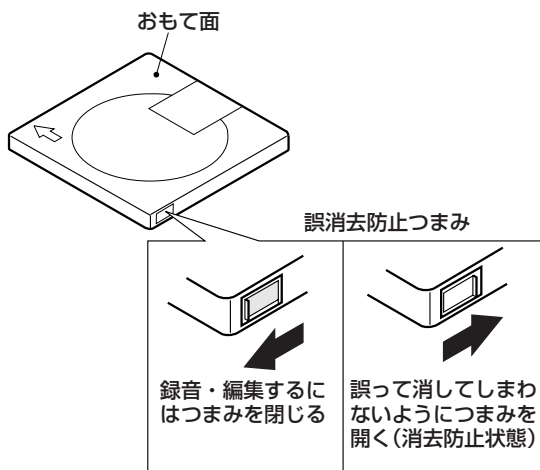
MDのシャッターは、開かないようにロックされています。無理に開けようとするとMDがこわれます。

置き場所に気をつけて

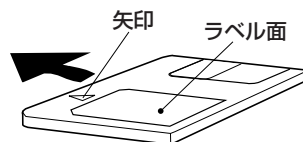
次のようなところには置かないでください。
・直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
・風呂場など湿気の多いところ
・海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを

MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

大切な録音を消さないために

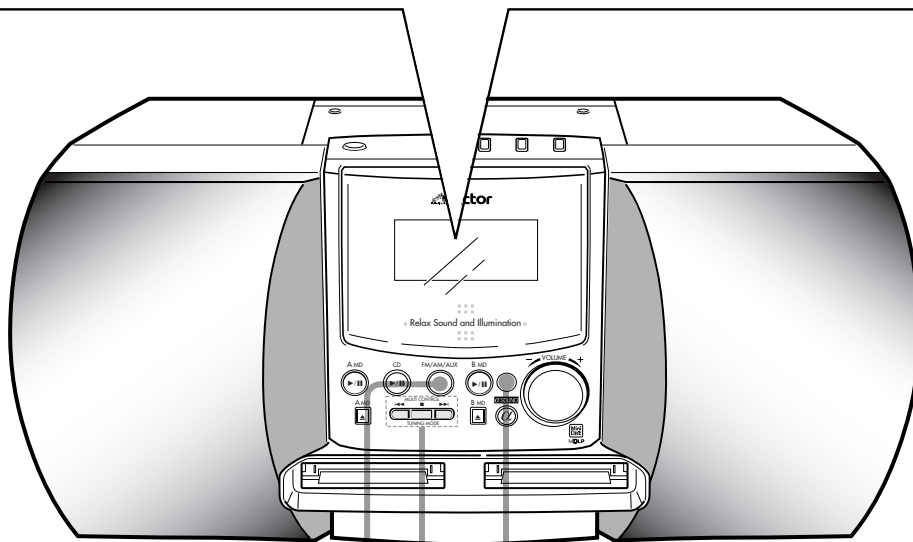
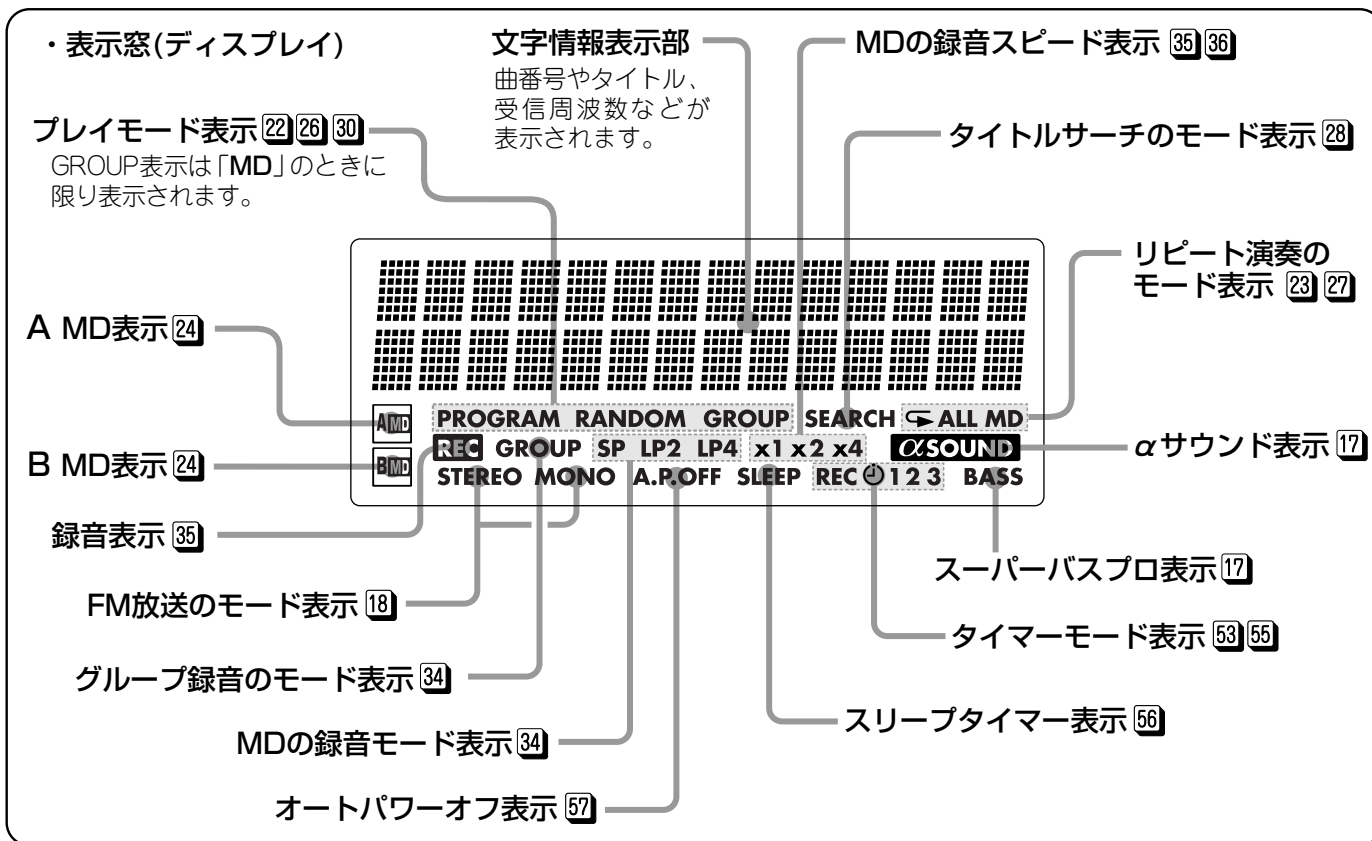
録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

〈お知らせ〉

● 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
● MDは▷などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

各部の名前 —❑内の数字のページに説明があります。—

本　体

	「CD」	「A MD」と「B MD」
⏮と⏭	曲の頭出し、早送り/早戻し 20	曲の頭出し、早送り/早戻し 24
■	停止 20	停止 24

*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

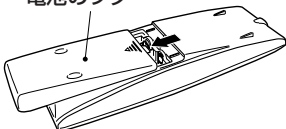
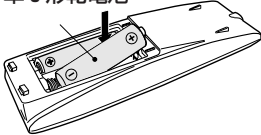
各部の名前(つづき) —□内の数字のページに説明があります。—

本体

	ラジオ(FMまたはAM)
I◀◀と▶▶I	オート選局/マニュアル選局 18
■ TUNING MODE	選局モードの選択 18 …本体のみ (I◀◀と▶▶I ボタンのプリセット選局とマニュアル選局のモード切換)

リモコン

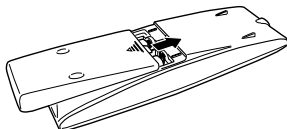
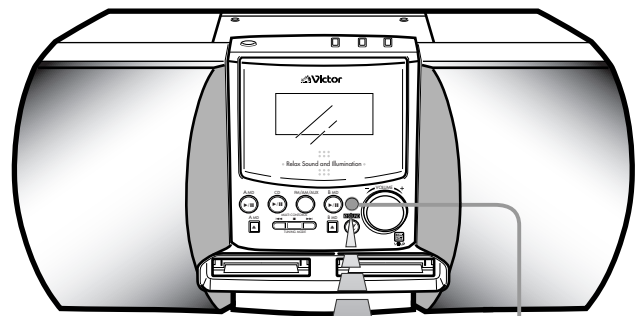
- 数字ボタン(1〜10、+10、オートプリセット/0)
  - ・ラジオ 18
  - ・オートプリセット 19
  - ・CD 21 22
  - ・MD 25 26
  - ・タイトル入力 28 40
- タイトル/編集ボタン 34 39 43〜45
- グループタイトル/編集ボタン 40 47〜51
- リピートボタン 23 27
- 再生モードボタン 22 23 26 27 30
- 時計/タイマーボタン 14 52 54
- スリープボタン 56
- ディマーボタン 14
- スーパーバスプロボタン 17
- 電源ボタン 16
- 表示/文字ボタン 14 28 40
- CANCEL(キャンセル)ボタン 14 28 40 43〜45 47〜52
- SET(セット)ボタン 14 19 28 40 43〜45 47〜52
- ENTER(エンター)ボタン 19 28 40 43〜45 47〜51
- タイトルサーチボタン 28
- グループスキップボタン 30 48〜51
- オートパワーオフボタン 57
- FMモードボタン 18
- 録音終了音オン/オフボタン 33
- 録音モードボタン
  - ・SP/LP2/LP4 34
  - ・グループ 34
  - ・録音スピード 35 36
- 音量ボタン 16
- 低音/高音ボタン 17
- マニュアルカラー設定ボタン 15

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

リモコンの乾電池の入れかた

1 裏ブタを開ける

2 乾電池を入れる

単3形乾電池を2本入れます。
リモコン内部の表示に極性(+、−)を合わせて正しく入れます。

3 裏ブタを閉める

矢印の方向に戻します。

● リモコン操作のしかた

・リモコン受光部に正しく向けて操作してください。
・操作可能な距離は、リモコン受光部より約7mですが、斜めから操作すると短くなります。

〈お知らせ〉

- ● リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。2本とも新しい電池(単3形アルカリ乾電池など)に交換してください。
- ● 付属の乾電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きは、リモコン内部の表示通り正しく入れてください。
- ● リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ● 他のラジオにノイズ(雑音)が入るときは、離してお使いください。
- ● 動作しないことを避けるため、次のような状態で使用しないでください。
  - ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
  - ・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき

接続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

アンテナの接続と調節

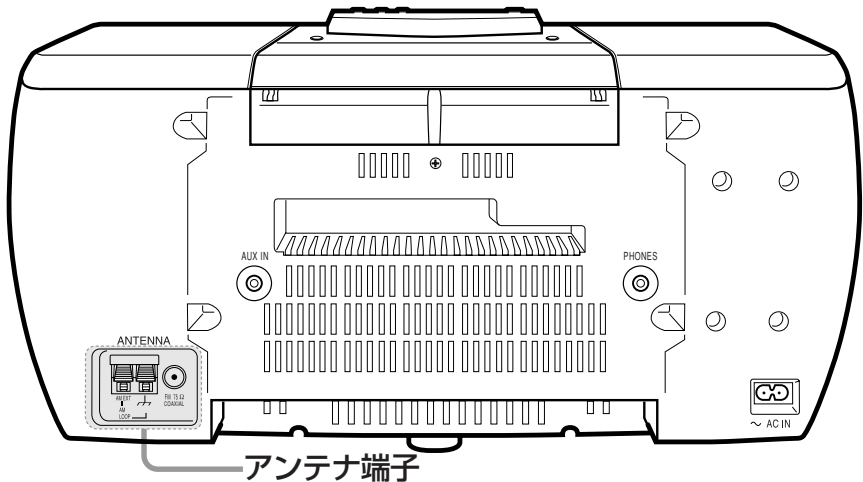
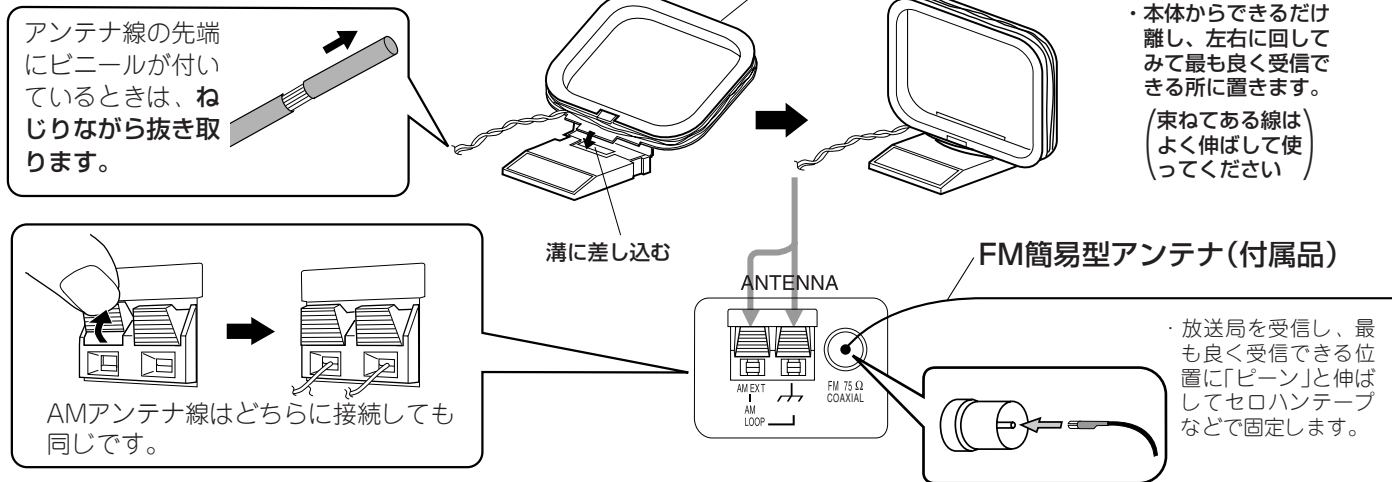
〈お知らせ〉
- **アンテナを接続しないと、放送を聞くことはできません。**
- AMループアンテナは、金属製の机の上やパソコン、テレビなどの近くに置かないでください。受信状態が悪くなります。

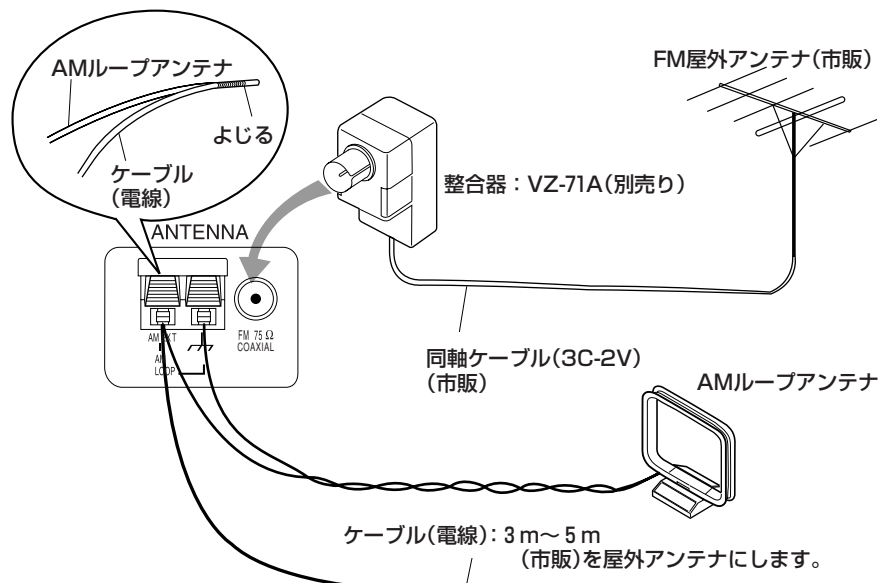
● 付属のアンテナの接続と調節

アンテナ線の先端にビニールが付いているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

AMアンテナ線はどちらに接続しても同じです。

- **本体からできるだけ離し、左右に回してみて最も良く受信できる所に置きます。**
（**束ねてある線はよく伸ばして使ってください**）

- 放送局を受信し、最も良く受信できる位置に「ピーン」と伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

● 屋外アンテナの接続

- FM放送の場合、付属の簡易型アンテナでは雑音が多くて聞きにくいときは、市販の屋外用のFMアンテナを使います。
マンションなどでは、壁の共聴アンテナ端子も利用できます。
- AM放送の場合、市販のケーブル（3～5ｍの電線）を使います。

〈お知らせ〉
- 屋外アンテナの設置は、技術と経験を必要としますので詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A(別売り)がご利用になれます。
- アンテナを接続したら、コードを引いてみてしっかり接続されているか確認してください。

- AMループアンテナも一緒に接続しておきます。
ケーブル（電線）は、窓際や屋外になるべく高く水平に張ると効果的です。

他の機器、電源コードの接続

ステレオミニプラグ

接続コードCN-201A（別売り）
ポータブルMDプレーヤー（別売り）などと接続するときは、CN-203A（別売り）を使います。

AUX IN

L
R

または

市販のレコードプレーヤーなど
（イコライザーアンプ内蔵タイプ）

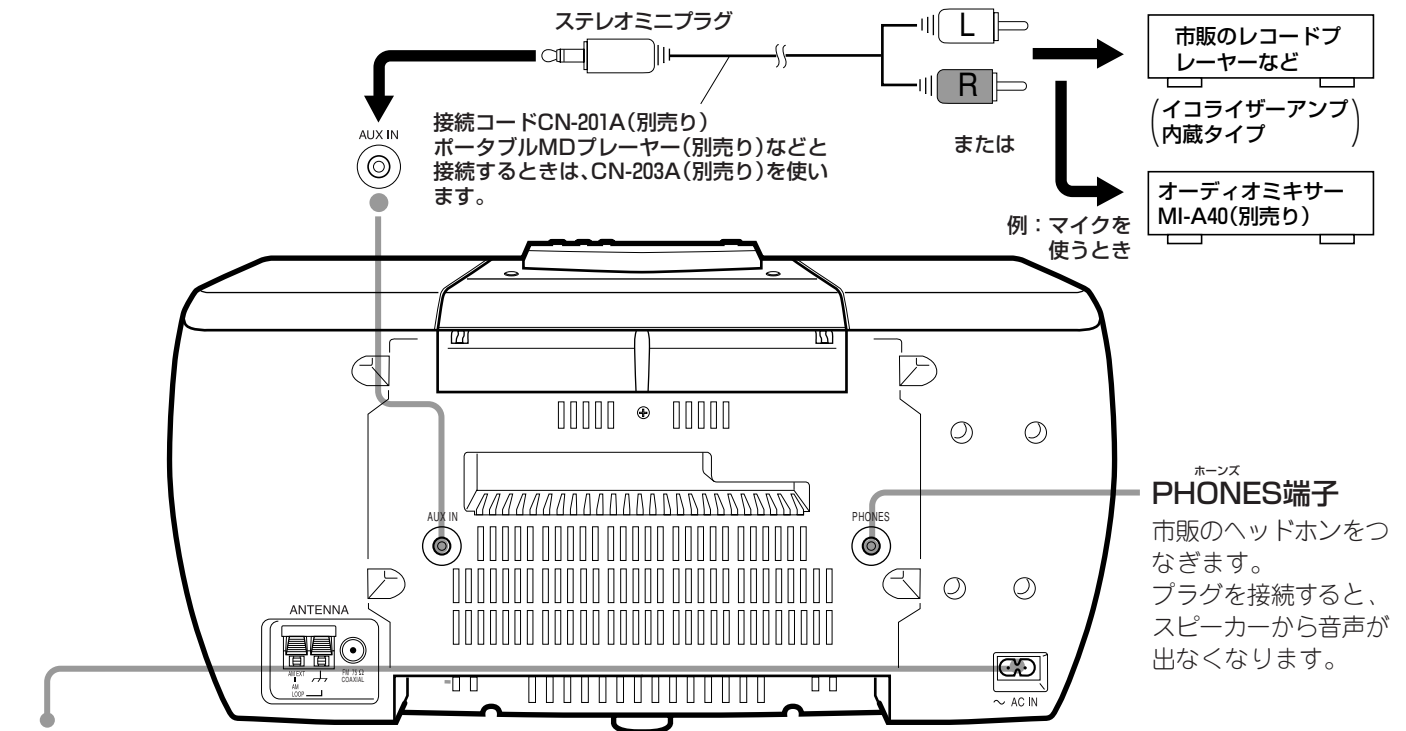
オーディオミキサー MI-A40（別売り）
例：マイクを使うとき

ANTENNA

AUX IN

PHONES

～ AC IN

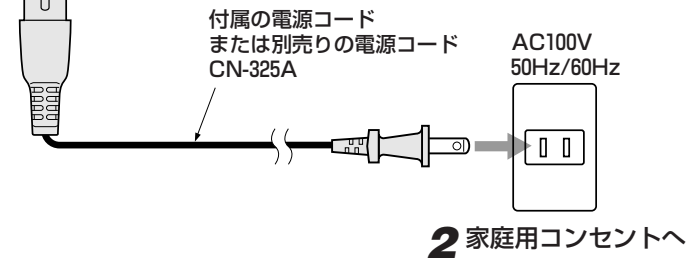
PHONES端子（ホーンズ）
市販のヘッドホンをつなぎます。
プラグを接続すると、スピーカーから音声が出なくなります。

～ AC IN

すべての接続が終わったら…

1 AC IN 端子へ差し込んでから…

付属の電源コード
または別売りの電源コード
CN-325A

AC100V
50Hz/60Hz

2 家庭用コンセントへ

〈お知らせ〉

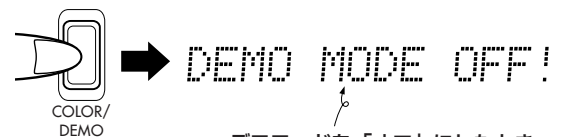
- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：**CN-325A**をお買い求めください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。
（電源が切れていても、電源コードが接続されていると約1Wの電力を消費します）

ご注意

- **本機を持ち運びするときは**
電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前に外し、両側面の下側を持って運んでください。特に屋外用の**FM**アンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 1分以上の停電や電源コードがコンセントから抜いてあると、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

表示窓のデモ表示について

本機にはデモ表示機能があり、電源コードを接続すると自動で〈DEMO MODE〉が表示され、本機の機能などが表示窓にくり返し表示されます。
なお、デモ表示中でも本機の操作はできます（デモ表示は一時停止）。

- **デモ表示を解除するには**（電源「切」のとき）

COLOR/DEMO

・押すごとに「オフ⇔オン」が選べます。

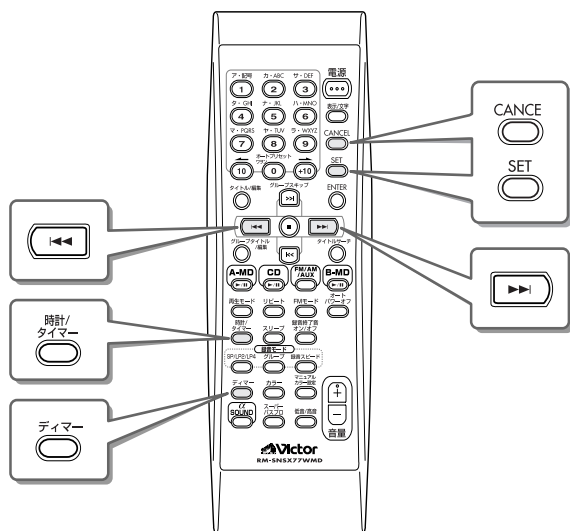
デモモードを「オフ」にしたとき（デモ表示には入りません）

- デモモードが「オン」の場合、電源を「切」にしても2分後に自動でデモ表示に入ります。

- **デモ表示の動作に入らなくするには**

1.POWERを押して電源を「切」にする
2.COLOR/DEMOを2秒以上押す
「DEMO CLEAR」が表示され、電源コードを抜き差ししてもデモ表示の動作には入らなくなります。
・元に戻すには
もう一度手順***1***と***2***の操作をします。
手順***2***のとき、2秒以上押して指を離すと「DEMO MODE」が表示され、お買い上げ時の状態に戻ります。

準備

時計を合わせる（現在時刻の設定）

● 例：午後１時15分（13：15）に合わせるには…

1 時計/タイマー **を押す**

「時」表示が点滅します

0:00
OK?→SET

（合わせ直しのときは、TIMER１～３の表示のあと現在時刻の表示が点滅します）

２分以内に

2 ▶▶|（または|◀◀）とSETで時刻を合わせる（本機の時刻は「24時間表示」方式です）

・▶▶|（または|◀◀）は、押し続けると連続して変わります。

● 正確に時刻を合わせるには

テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。時刻を合わせ直すときは、リモコンの**時計／タイマー**を４回押したあと上記の**2**の操作をします。

● 使用中に時刻を知るには…（MDが入っていないとき）

リモコンの**表示／文字**を押します。元の表示に戻すときは、もう一度押します。

・B MDデッキにMDが入っているときと、いないときで表示の順番が異なります。➡㉕ページ参照

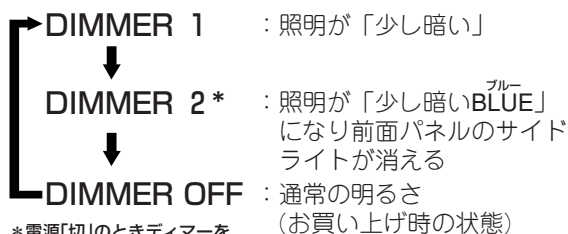
● １分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは…

時刻表示が取り消され 0:00 表示の点滅と「CLOCK ADJUST」の表示に戻ります。このようなときは、左記**1**～**2**の操作で時刻を合わせ直してください。

● 一時的に照明を暗くする（ディマー機能）

リモコン

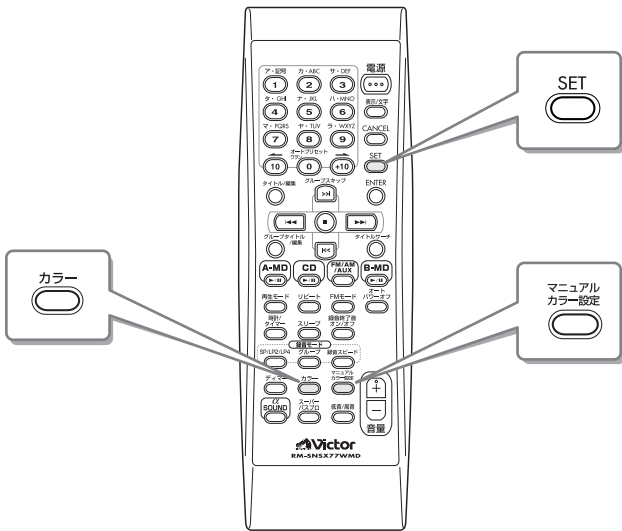
ディマーを押します。押すごとに次のように前面パネルの明るさが変わります。

→DIMMER 1 ：照明が「少し暗い」
↓
DIMMER 2＊ ：照明が「少し暗いBLUE（ブルー）」になり前面パネルのサイドライトが消える
↓
DIMMER OFF ：通常の明るさ（お買い上げ時の状態）

＊電源「切」のときディマーを押すと、表示なしで一時的にDIMMER2になります。

〈お知らせ〉

- 電源「切」で時計を合わせたときは、設定が終わると現在時刻の表示になります。
- 「分」表示を合わせているとき、リモコンのCANCELを押すと「時」表示の点滅に戻せます。「時」表示を修正することができます。
- 時計を合わせておくと、タイマーを利用することができます。合わせないとタイマーが利用できません。
- 時計の精度は…
  月に１分程度のズレを生じます。タイマーをお使いになるときは、時々時刻を合わせ直してください。

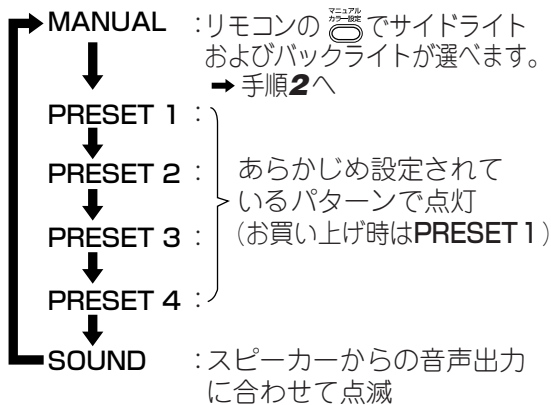
照明を調節する

本機は、前面パネルの照明を選ぶことができます(レイヤーイルミネーション)。
・電源が「入」の状態で操作します。

照明のパターンまたは色を選ぶ

1 カラー を押す(本体は COLOR/DEMO を押す)

現在設定されている色のパターン名が表示窓に表示されます。

- ボタンを押すごとに下のように切り換わります。
  パターン名を選ぶと、約8秒でもとのソース(音源)の表示に戻ります。

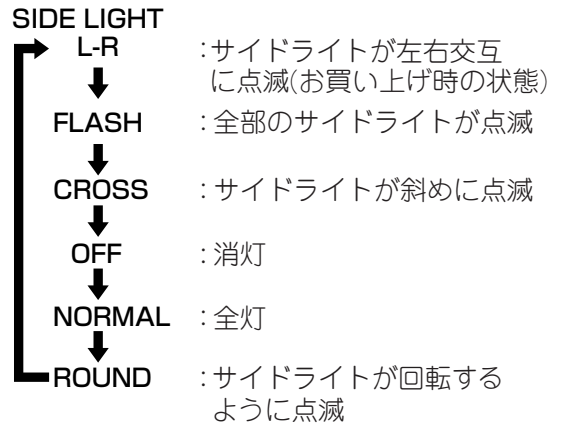
MANUAL :リモコンの マニュアルカラー設定 でサイドライトおよびバックライトが選べます。
➡ 手順***2***へ
↓
PRESET 1 :
↓
PRESET 2 :
↓
PRESET 3 :
↓
PRESET 4 :
(PRESET 1〜4: あらかじめ設定されているパターンで点灯(お買い上げ時はPRESET 1))
↓
SOUND :スピーカーからの音声出力に合わせて点滅

- 「MANUAL(マニュアル)」を選んだときに限り手順***2***へ進みます。

ご注意

- 設定した照明の色は、いつも正確に同じ色になるとは限りません。本機の使用環境(室内温度など)や長期間の使用による変化などのため、色合いが異なって見えることがあります。
- ディマー機能と合わせて使う場合、同じ設定でも多少異なった色合いに見えることがあります。
  なお、DIMMER 2 に設定されているときは、一定の色のみで**カラー**や**アニュアルカラー設定**を押しても色は変わりません。

2 マニュアルカラー設定 を押してSIDE LIGHT(サイドライト)の光りかたを選ぶ

SIDE LIGHT

L-R :サイドライトが左右交互に点滅(お買い上げ時の状態)
↓
FLASH :全部のサイドライトが点滅
↓
CROSS :サイドライトが斜めに点滅
↓
OFF :消灯
↓
NORMAL :全灯
↓
ROUND :サイドライトが回転するように点滅

8秒以内に

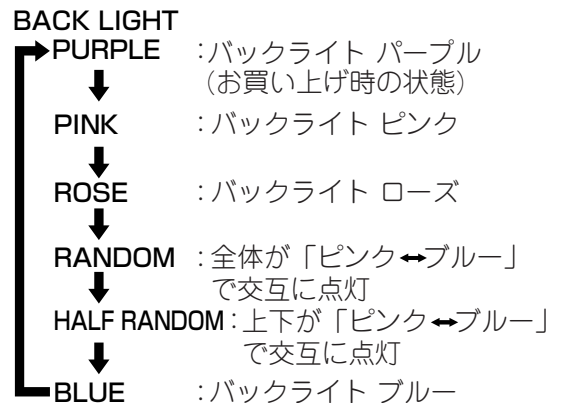
3 SET を押す

- BACK LIGHT(バックライト)の光りかたを選ぶモードになります。

8秒以内に

4 マニュアルカラー設定 を押してBACK LIGHTの光りかたを選ぶ

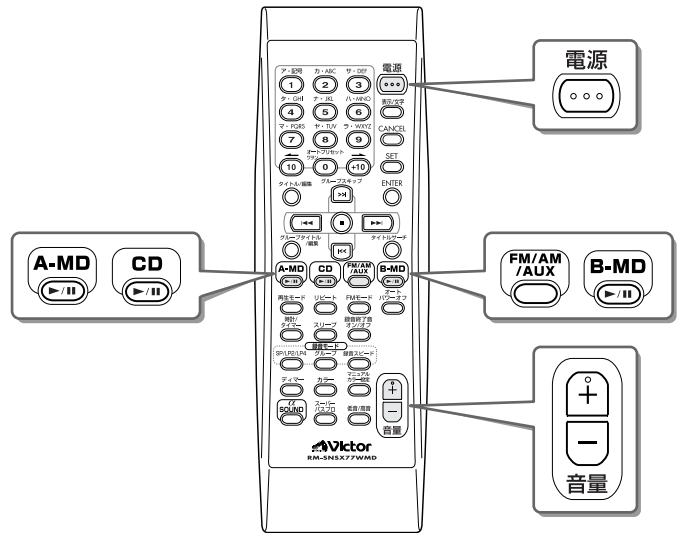
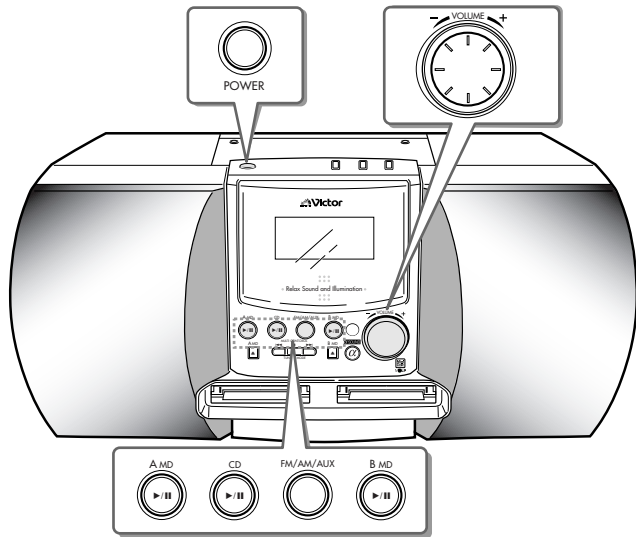
BACK LIGHT

PURPLE :バックライト パープル(お買い上げ時の状態)
↓
PINK :バックライト ピンク
↓
ROSE :バックライト ローズ
↓
RANDOM :全体が「ピンク↔ブルー」で交互に点灯
↓
HALF RANDOM :上下が「ピンク↔ブルー」で交互に点灯
↓
BLUE :バックライト ブルー

8秒以内に

5 SET を押す

- 選んだ色で光ります。
  SETを押さないときは、8秒後に選んだ色で光るようになります。

準備

簡単操作(電源の入/切、イチ押しプレイ、音量・音質の調節)

1 電源を押す(本体はPOWERを押す)

本　体

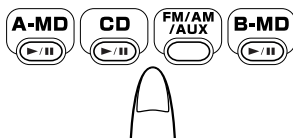
リモコン

- 電源が入り、「♪HELLO」が表示されたあと選ばれているソース(音源)が表示されます。
- CD▶/❚❚、AMD▶/❚❚、BMD▶/❚❚、FM/AM/AUXのいずれかを押したときも電源が入り、ソース(音源)も変わります。

➡イチ押しプレイといいます。
(ディスクが入っていたときは、演奏が始まります)

2 聞きたいソース(音源)を選ぶ

本　体

リモコン

	操　作	参照ページ
CDを聞く	CDを入れ、CD▶/❚❚を押す	20
MDを聞く	AMDデッキまたはBMDデッキにMDを入れ、AMD▶/❚❚またはBMD▶/❚❚を押す	24
放送を聞く(ラジオ)	FM/AM/AUXを押して聞きたい放送局を選局する	18
他の機器の音声を聞く	レコードプレーヤーなどをつなぎFM/AM/AUXを押してAUXを選ぶ	31

3 音量を調節する

本　体　　リモコン

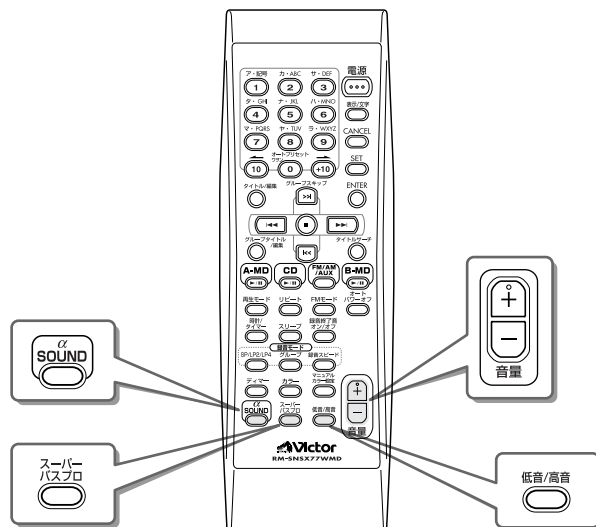
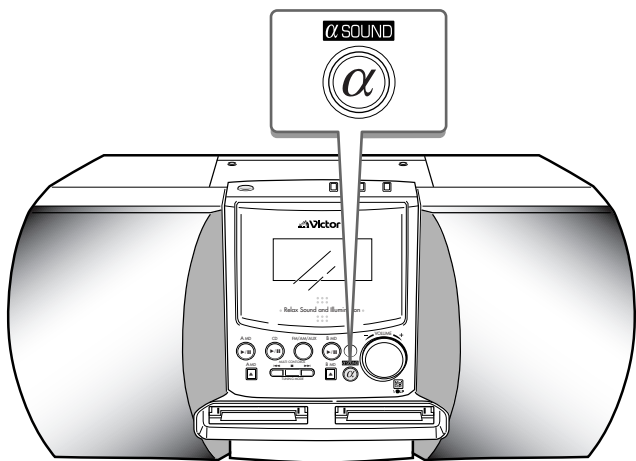
- **リモコンの場合、+側を押すと音量が上がり、−側を押すと下がります。**
- **VOLUME 0〜35までの範囲で調節できます。音量は表示窓に約2秒間表示されます。**

●使い終わったら…

電源(本体は**POWER**)を押して電源を「切」にします。
「**SEE YOU♪**」が表示されたあと表示窓に現在時刻が表示されます。

〈お知らせ〉

- 電源「切」のときCD▲を押すと、電源が入りCDドアが開きます。
- 電源「切」のときAMD▲またはBMD▲を押すと、電源が入りMDが入っていたときは出てきます。
- **電源「切」のときは、消費電力を抑えるためMDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。**

＊以後、本書では主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

音質の調節(リモコンのみ)

1 **を押して「BASS 0」または「TREBLE 0」を選ぶ**

・押すごとに

BASS 0
ADJUST VOLUME (低音調節のモード)

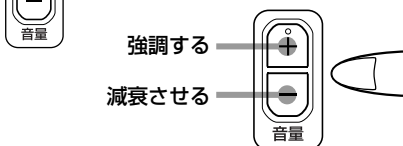
↓

TREBLE 0
ADJUST VOLUME (高音調節のモード)

ソース(音源)の表示

と選べます。

5秒以内に

2 を押して音質を調節する

・低音／高音とも0±5の範囲で調節できます。
・調節から5秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

重低音を強調する(リモコンのみ)

リモコン

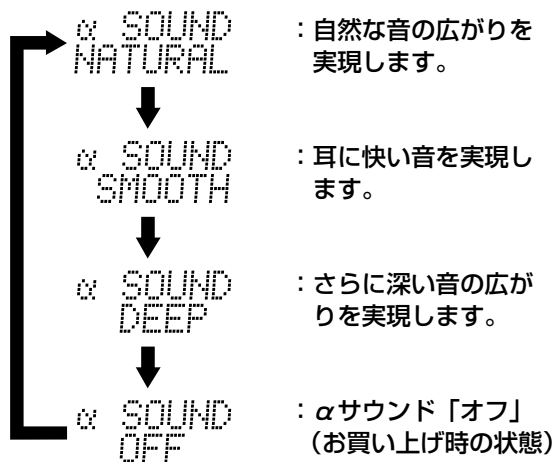
・押すごとに「オン↔オフ」が選べます。
「オン」にすると表示窓に**BASS**が表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます。(お買上げ時の状態)

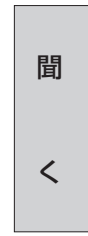
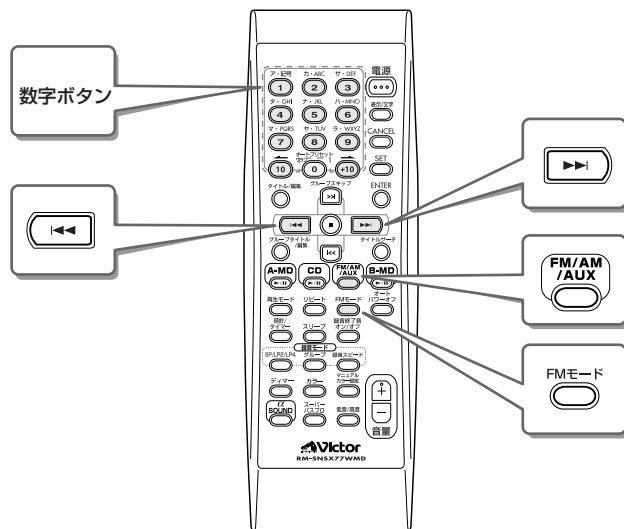
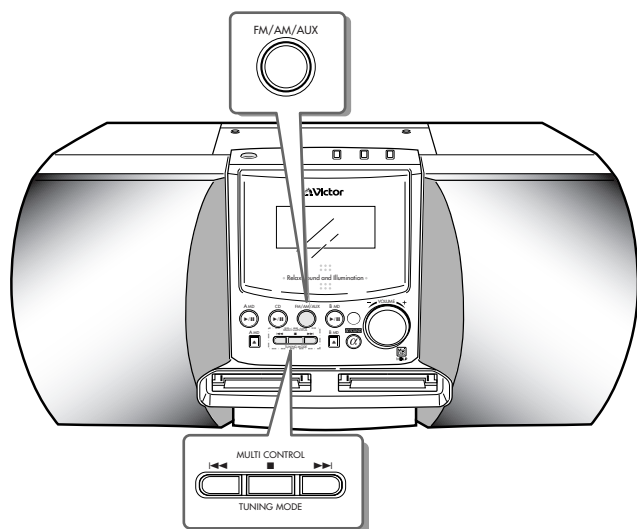
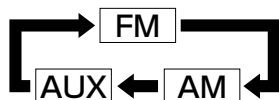
〈お知らせ〉

● 音量や音質調節は、スピーカーの音声やヘッドホンの音声に効きます。録音される音には、影響ありません。

αサウンド*を選ぶ

αSOUNDを押して「オン」にすると表示窓に**αSOUND**が表示され、ひろがりのある音が楽しめます。

押すごとに以下のように選べます。

＊αサウンドとは

α波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのαDIMENSION SOUNDは、サウンド回路の要である左右差信号(L−R間接音)にα波周波数でゆらぎを与え(これをLFO変調といいます)、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

放送(ラジオ)を聞く

1 FM/AM /AUX(本体は FM/AM/AUX)を押してFMまたはAMを選ぶ

・電源が入り、押すごとにバンドまたは「AUX」が選べます。
・FMまたはAMを選ぶとソース(音源)は「ラジオ」になります。

2 選局する

2-A 放送局が記憶(メモリー)してあるとき(この操作をプリセット選局といいます)

リモコン

● リモコンの数字ボタン(1～10、+10)で選局する

1～10のプリセット番号を選局するとき

数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。

11以上のプリセット番号を選局するとき

P15を選局 ：+10 ➡ 5

P20を選局 ：+10 ➡ 10 (FM放送のみ)
と押します。

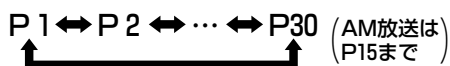
21以上のプリセット番号を選局するとき

P25を選局 ：+10 ➡ +10 ➡ 5 (FM放送のみ)

P30を選局 ：+10 ➡ +10 ➡ 10 (FM放送のみ)
と押します。

本　体

● 本体のときは、TUNING MODEを押してPRESET(プリセット)を表示させ ▶▶|(または |◀◀)を押して選局する

P1 ⇔ P2 ⇔ … ⇔ P30 (AM放送はP15まで)

2-B リモコンの▶▶|(または|◀◀)を押して選局する

● 本体のときは、TUNING MODEを押してMANUAL(マニュアル)表示にしたあと▶▶|(または|◀◀)を押して選局する

2つの選局方法があります。

オート選局	：▶▶|(または|◀◀)を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。 十分に電波の強い放送局を受信すると自動で止まります。 途中で止めるときは、▶▶|(または|◀◀)を「ポン」と押します。
マニュアル選局	：▶▶|(または|◀◀)を押すごとに周波数が変わります。▶▶|を押すと周波数が上がり、|◀◀を押すと下がります。 押すごとにFM*は0.1MHzずつ、AMは9kHzずつ変わります。

・電波が弱く、オート選局が自動で止まらないときはマニュアル選局に切り換えてください。

＊テレビの1～3チャンネルは、周波数が合わないためうまく受信できません。これはテレビ音声が50kHz間隔のためで、故障ではありません。

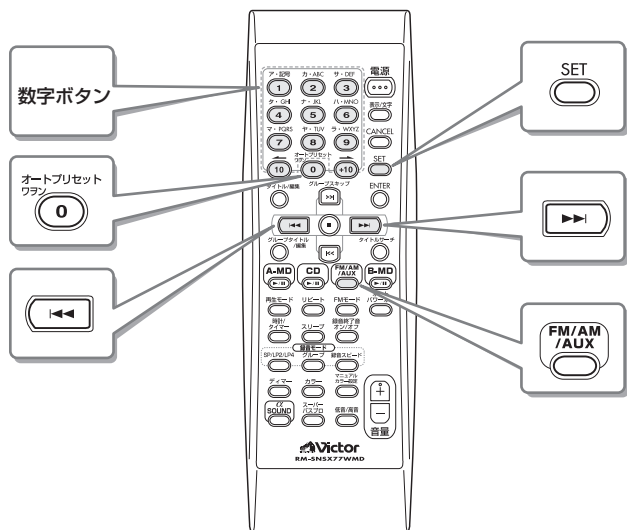
● FM放送を聞くときは

FMステレオ放送を受信すると、表示窓に“STEREO”が表示されステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいときは、リモコンのFMモードを押して“MONO”表示に切換えてください。

リモコン

・押すごとに変わります。

放送局を記憶させる(プリセット)

選局した放送局を記憶(メモリー)しておくと、簡単に呼び出すことができます。
放送局を記憶させる方法には、選局から記憶までを自動で行う**オートプリセット**と、手動で選局と記憶を行う**マニュアルプリセット**があります。
- AM放送は最大 15 局、FM放送は最大 30 局まで記憶させることができます。
- **リモコンで操作します。**

〈お知らせ〉
- AM放送は、モノラル受信です。AM放送を受信するときは、必ずAMループアンテナ(付属品)を接続してください。
- 付属のFM簡易型アンテナやAMループアンテナではうまく受信できないときは、市販の屋外アンテナを使用してください。➡⑫ページ参照
- 電源コードを抜いた状態(または停電)が24時間以上続くと、記憶させた放送局は取り消されます。再度記憶させてください。
- 放送局名を入力すると、オート選局やマニュアル選局でその周波数を受信したときも放送局名が表示されます。ただし、別のプリセット番号に記憶させても放送局名はつきません。
- 放送局名は、B MDに録音してもトラックタイトルには記録されません。

オートプリセット

1 FM/AM/AUX を押してFMまたはAMを選ぶ

・ソース(音源)が「ラジオ」になります。

2 オートプリセット ワタシ 0 を 2 秒以上押す

受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- ・受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットの最大数(FMで 30 局、AMで 15 局)まで記憶されると、オートプリセットは終了します。
- ・雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。
- ・前に記憶されていた放送局があっても、新しくプリセットされた放送局が上書きされます。このとき、登録済みの放送局名も一緒に全て取り消されます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号 1 に記憶した放送局が受信されます。

● 放送局名を入力する(最大 8 文字)

プリセット選局で受信中の放送局に局名をつけることができます。なお、オート選局やマニュアル選局で受信中は、できません。

1. タイトル/編集 を押す

2. 表示/文字 と数字ボタン(1〜10、+10)で局名を入力する

➡文字の入力方法は㊵ページ手順***4***〜***5***参照

3. ENTER を押す

・「STORED」が表示され、入力した局名が登録されます。

マニュアルプリセット

1 FM/AM/AUX を押してFMまたはAMを選ぶ

・ソース(音源)が「ラジオ」になります。

2 ▶▶I(または I◀◀)を押して記憶させる放送局を選ぶ

➡⑱ページ「オート選局／マニュアル選局」参照

3 SET を押す

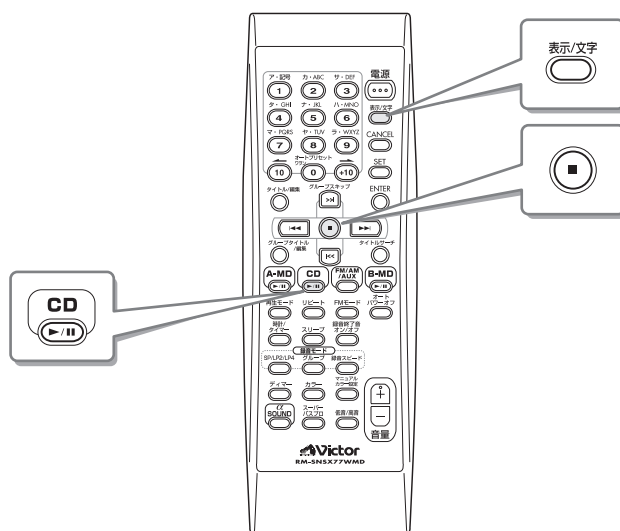
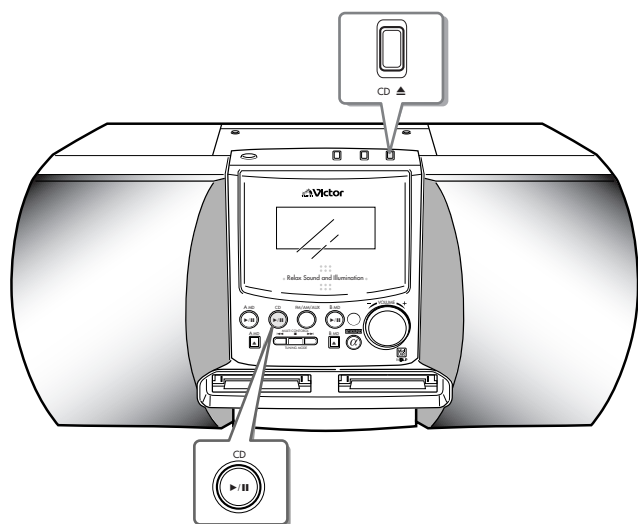
・プリセット番号 1 が約 5 秒間点滅します。その間に次の操作をしないと、手順***2***に戻ります。

4 数字ボタン(1〜10、+10)を押して記憶したいプリセット番号を選ぶ

- ・すでに記憶されていたプリセット番号を指定すると、新しく選んだ放送局が上書きされます。
- ・数字ボタンの使いかたは、⑱ページの手順***2-A***「放送局が記憶(メモリー)してあるとき」を参照してください。

5 SET を押す

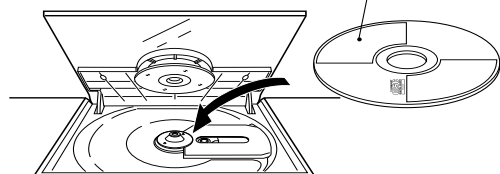
約 2 秒間、「STORED」が表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)されます。

CDを聞く —番号順に操作します。—

全部の曲の演奏

1 CDを入れる

1-1 (CD ▲)を押してCDドアを開ける

・電源「切」のときは、電源が入ります。

1-2 CDを入れる

1-3 (CD ▲)を押してCDドアを閉める

・ソース(音源)が「CD」のときは、「CD DOOR CLOSE ➡ CD READING」が表示されます。
・CD▲の代わりにCD▶/❚❚を押すと、CDドアが閉まり演奏がスタートします。

2 (CD ▶/❚❚)(本体は (CD ▶/❚❚))を押す

・ソース(音源)が「CD」になり演奏がスタートします。

・「CD PLAY」が表示され１曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

	操作
演奏をとめる	■(停止)を押します。 総曲数と総演奏時間が表示されます。 ・本体はMULTI CONTROLを使います。
一時停止する	CD▶/❚❚を押します。演奏経過時間表示が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し (スキップ)	❙◀◀：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ▶▶❙：押すごとに次の曲の頭に移ります。 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。 ・本体はMULTI CONTROLを使います。
曲の早送り・早戻し (サーチ)	・演奏中に押し続けます。 ❙◀◀：早戻しができます。 ▶▶❙：早送りができます。 (演奏音が小さく聞こえます) ・本体はMULTI CONTROLを使います。

● CDを取り出すには

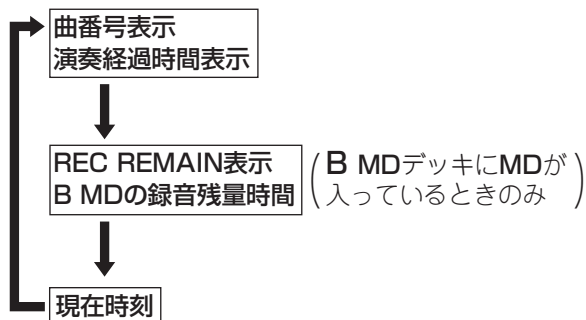
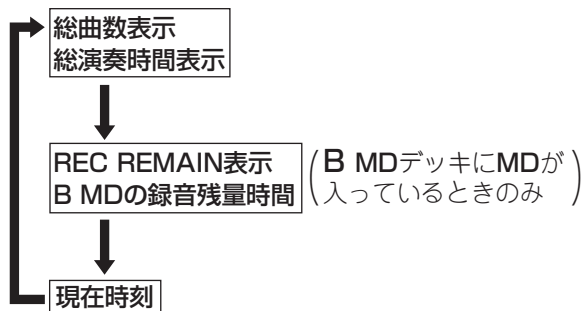
CD▲ボタンを押すと、CDドアが開きます。ソース(音源)が「CD」のときは、表示窓に「CD DOOR OPEN」が表示されます。

表示窓の表示を変える

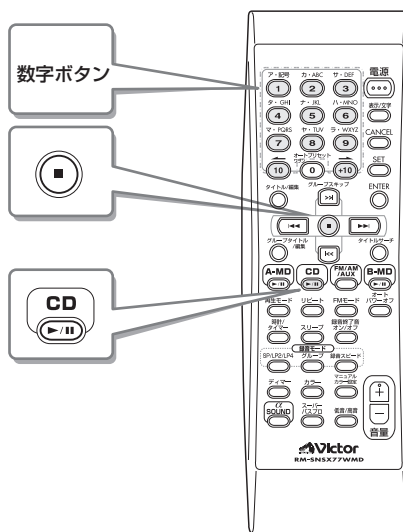
リモコンの**表示／文字**を使います。押すごとに次のように変わります。

・CD演奏中は

・CD停止中のときは

〈お知らせ〉

- 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- CDの取り扱いについては、8ページをご覧ください。
- CDが入っているときは、CD▶/IIを押すだけで演奏が始まります。
- CDが入っていないときCD▶/IIを押すと、「CD NO DISC」が表示されソース(音源)は変わりません。
- 電源を「入」にすると、MD部から「カチッ」という音がします。これはMD部に電源を供給するための音で故障ではありません。

ダイレクト演奏

聞きたい曲の番号と同じ数字ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。これをダイレクト演奏といいます。

1 CD ▶/II を押したあと■を押す

- ソース(音源)が「CD」になります。
  総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 数字ボタン(1～10、+10)を押して聞きたい曲を選ぶ

1～10の曲番号を選ぶとき

数字ボタンの1～10いずれかのボタンを押します。

11以上の曲番号を選ぶとき

15曲目を選ぶ：+10 ➡ 5

20曲目を選ぶ：+10 ➡ 10
と押します。

21以上の曲番号を選ぶとき

25曲目を選ぶ：+10 ➡ +10 ➡ 5

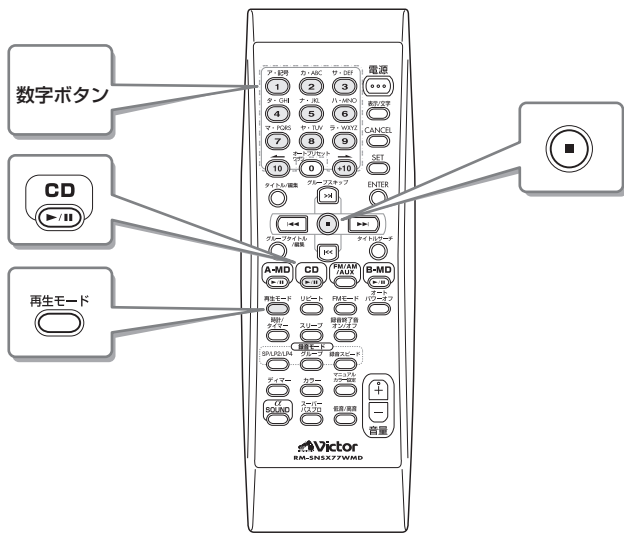
30曲目を選ぶ：+10 ➡ +10 ➡ 10
と押します。

押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。ただし、CDにない曲番号は選べません。

- **演奏中も別の曲に変更できます。**
  聞きたい曲の曲番号と同じ数字ボタンを押してください。押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

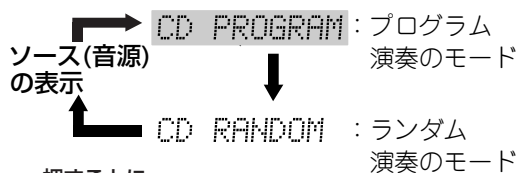
CDを聞く(つづき) ー番号順に操作します。ー

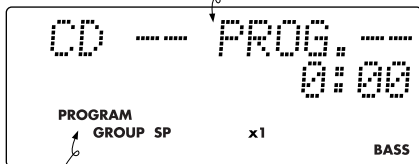
プログラム演奏

最大32曲までプログラム(予約)することができます。これ以上は「MEMORY FULL」が表示され、できません。

1 CDを押したあと■を押す

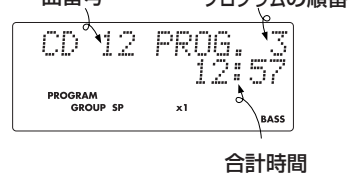
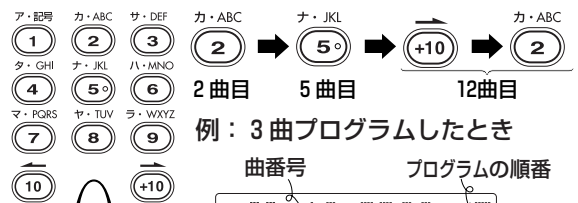
・ソース(音源)が「CD」になります。

演奏がとまったら

2 再生モードを押して「CD PROGRAM」を選ぶ

・押すごとに変わります。

プログラム演奏のモード表示

プレイモード表示

3 数字ボタン(1～10、+10)を押してプログラムする

(例： 2➡5➡12曲目の順に予約するとき)

・予約の最後の曲番号と順番、プログラムの合計時間が表示されます。ただし、1:39:59 を超えると－:－－表示になります。

4 CDを押す➡プログラム演奏スタート

・プログラムした順に演奏されます。演奏が終わると自動停止しますがプログラムは残ります。

● プログラム内容の確認(停止状態のときのみ)

▶▶Iを押すごとに、プログラム 1 からの曲番号とプログラムの順番が表示されます。合計時間の表示は変わりません。

● プログラムを間違えたときは

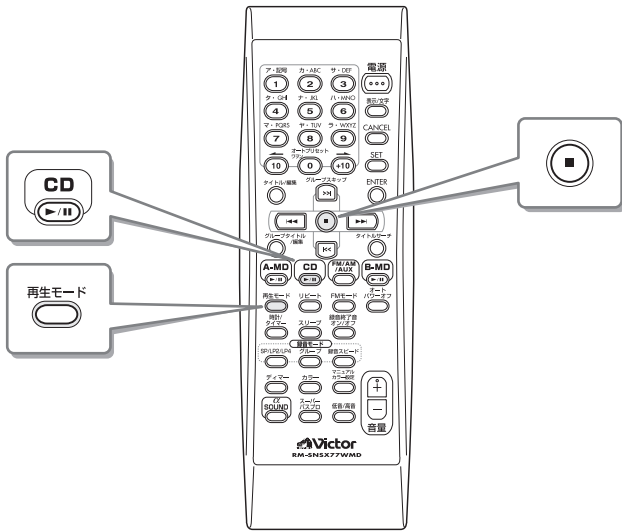
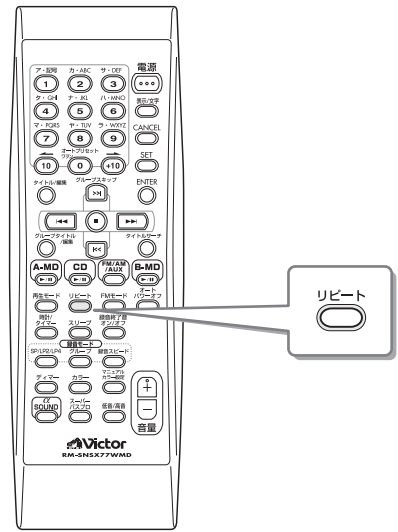
停止状態のときCANCELを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。
「CD PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまで押し続けると、プログラムが全て取り消されます。

● プログラム演奏のモードを取り消すには

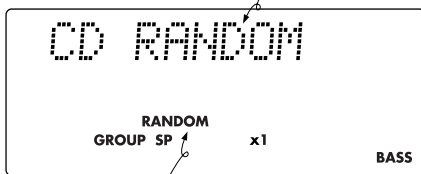
CD停止中に**再生モード**を押してソース(音源)の表示にします。この場合、プログラム内容は残ります。
CDを取り出す、または電源を切ったときも取り消されます。プログラムも全て取り消されます。

〈お知らせ〉

- 同じ曲だけ 32 曲プログラムすることもできます。
- プログラム演奏を利用すると、CDに収録されている曲の中から、好きな曲だけを選んで聞くことができます。なお、プログラムしてMDにシンクロ録音するときは、上記の手順**4**の操作は必要ありません。
- リピート演奏(➡23ページ参照)と併用すると、プログラムした曲をくり返して聞くことができます。
- タイマー再生を利用する場合、いったん電源を切ってしまうためプログラム演奏はできません。

無作為な順番で聞く（ランダム演奏）

本機が曲順を無作為（ランダム）に選んで演奏します。

1 CD を押したあと ■ を押す

・ソース（音源）が「CD」になります。

2 再生モードを押して「CD RANDOM」を選ぶ

3 CD を押す ➡ランダム演奏スタート

・無作為な順番に全曲を演奏すると、自動停止します。

● **ランダム演奏のモードを解除するには**

次のいずれかの操作をします。
・CDを取り出す
・停止中に**再生モード**を押して「RANDOM」表示を消す
・電源を切る

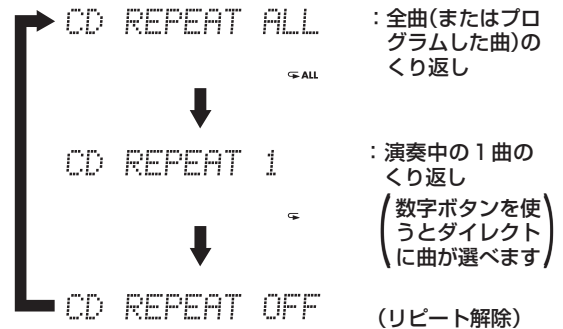
くり返して聞く（リピート演奏）

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

1 CD を押す

・ソース（音源）が「CD」になります。

2 リピートを押してリピート演奏のモードを選ぶ

・押すごとに変わります。

● **リピート演奏をやめるには**

リピートを押して「CD REPEAT OFF」を選び、リピート解除にします。

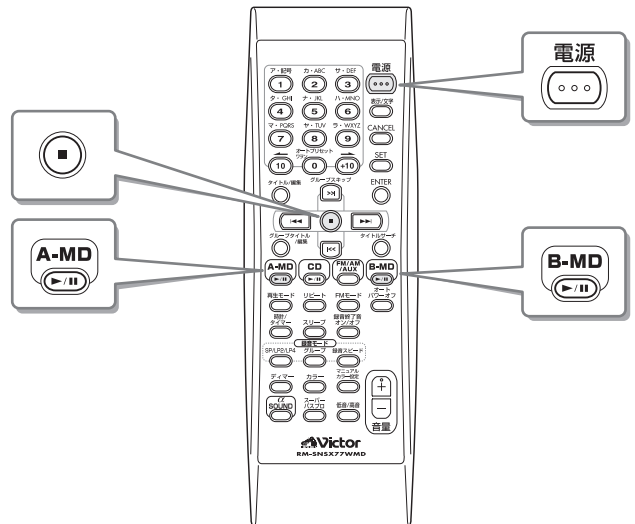
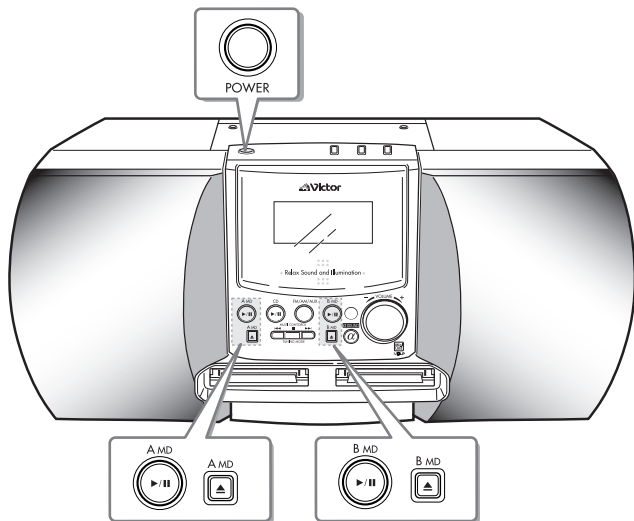
● **ランダム演奏をくり返すには**

ランダム演奏中に**リピート**を押して「CD REPEAT ALL」にすると、全曲リピートのランダム演奏になります。

MDを聞く —番号順に操作します。—

電源

A-MD

B-MD

全部の曲の演奏

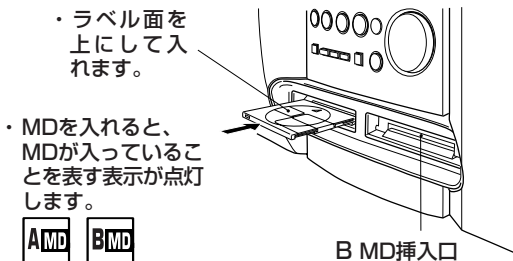
1 MDを入れる

1-1 POWER(リモコンは電源)を押して電源を「入」にする

本　体

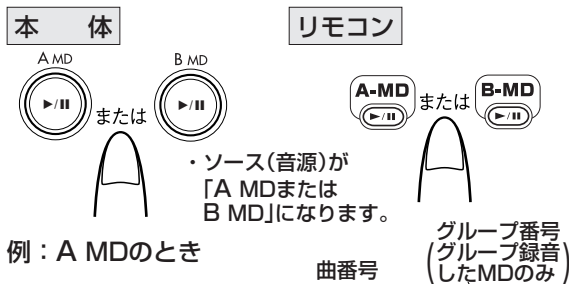
リモコン

1-2 ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込む。途中まで入れると自動的に中に引き込まれます。

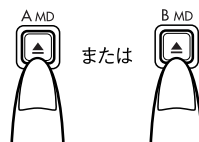
例：A MDデッキに入れるとき

・ラベル面を上にして入れます。

・MDを入れると、MDが入っていることを表す表示が点灯します。

AMD　BMD

2 演奏したいMDデッキのMD▶/❚❚を押す➡演奏スタート

・「AMD PLAY」が表示され1曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

	操　作
演奏をとめる	■(停止)を押します。 総曲数と総演奏時間が表示されます。 ・本体はMULTI CONTROLを使います。
一時停止する	A MD ▶/❚❚(またはB MD▶/❚❚)を押します。演奏経過時間表示が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し(スキップ)	❙◀◀：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ▶▶❙：押すごとに次の曲の頭に移ります。 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。 ・本体はMULTI CONTROLを使います。
曲の早送り・早戻し(サーチ)	・演奏中に押し続けます。 ❙◀◀：早戻しができます。 ▶▶❙：早送りができます。 (演奏音が小さく聞こえます) ・本体はMULTI CONTROLを使います。

●MDを取り出すには

A MD▲またはB MD▲を押すと、MDが出てきます。

ソース(音源)が「A MDまたはB MD」のときは、表示窓に「デッキ名とEJECT➡NO DISC」が表示されます。

MDの再生モードについて

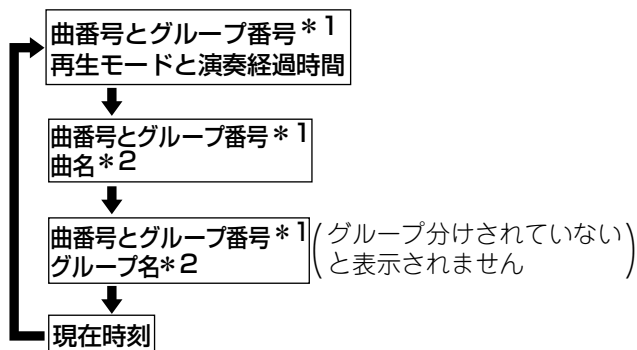
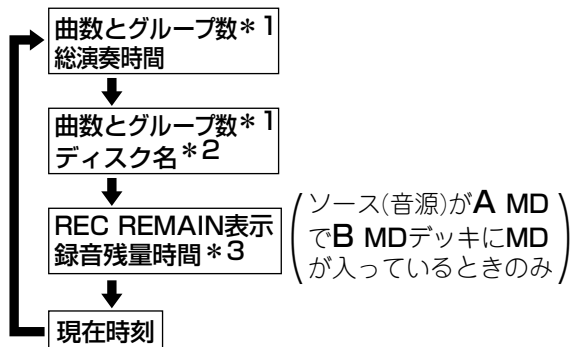
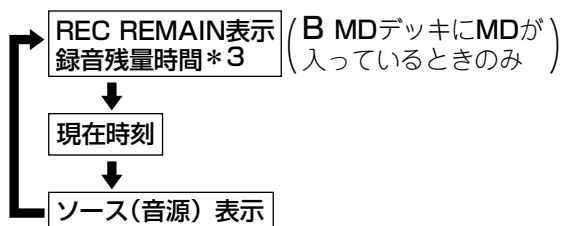
MDは録音したときの録音モードに従って演奏されます。演奏が始まると、表示窓にそのMDの再生モードが表示されます。

- SP：本機で標準のステレオ録音したMDまたはMD LPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- LP2：ステレオ2倍長時間録音したMDのとき
- LP4：ステレオ4倍長時間録音したMDのとき

表示窓の表示を変える

リモコンの**表示／文字**を使います。押すごとに次のように変わります。

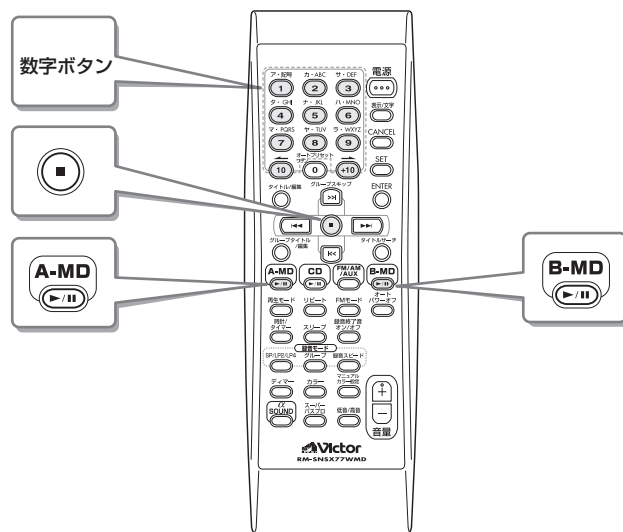
リモコン

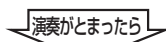
・MD演奏中は

・MDが停止中のときは[ソース(音源)はA MDまたはB MD]

● ソース(音源)がMD以外のときは

＊1 グループ分けされていないときは表示されません。
＊2 記録されていないときはNO TITLEが表示されます。
＊3 再生用MDのときは0:00が表示されます。

〈お知らせ〉

- MDの取り扱いについては、8ページをご覧ください。
- MDが入っているときは、A MD ▶/⏸またはB MD ▶/⏸を押すだけで演奏が始まります。
- MDが入っていないときA MD ▶/⏸またはB MD ▶/⏸を押すと、「AMD(またはBMD)NO DISC」が表示されソース(音源)は変わりません。
- 電源を「入」にすると、MD部から「カチッ」という音がします。これはMD部に電源を供給するための音で故障ではありません。

ダイレクト演奏

聞きたい曲の番号と同じ数字ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。これをダイレクト演奏といいます。

1 A-MDまたはB-MDを押したあと■を押す

・ソース(音源)が「A MD」または「B MD」になります。
総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 数字ボタン(1〜10、+10)を押して聞きたい曲を選ぶ

1〜10の曲番号を選ぶとき

数字ボタンの1〜10いずれかのボタンを押します。

11以上の曲番号を選ぶとき

15曲目を選ぶ　：+10 ➡ 5

20曲目を選ぶ　：+10 ➡ 10
と押します。

21以上の曲番号を選ぶとき

25曲目を選ぶ　：+10 ➡ +10 ➡ 5

30曲目を選ぶ　：+10 ➡ +10 ➡ 10
と押します。

112 曲目を選ぶ　：+10 を 11 回押したあと 2
を押します。

押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。ただし、MDにない曲番号は選べません。

● 演奏中も別の曲に変更できます。

聞きたい曲の曲番号と同じ数字ボタンを押してください。押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

聞く

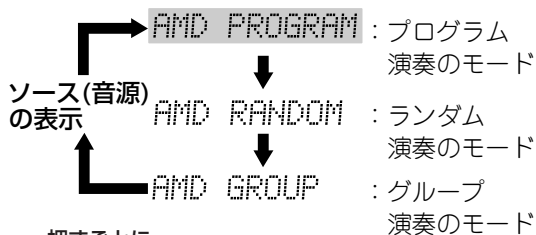
MDを聞く(つづき) ー番号順に操作します。ー

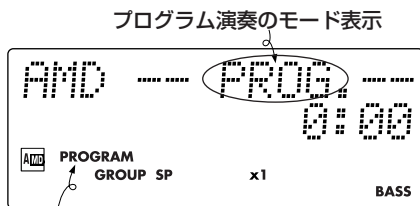
プログラム演奏

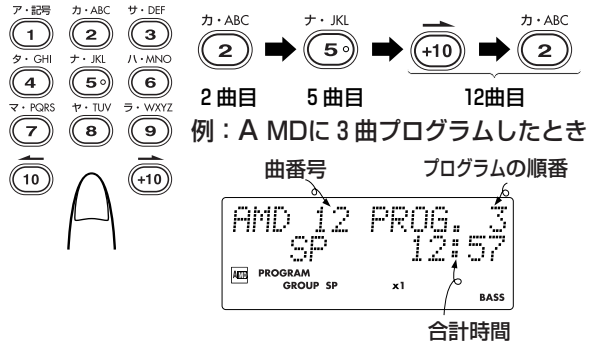
最大32曲までプログラム(予約)することができます。これ以上は「MEMORY FULL」が表示され、プログラムできません。

1 A-MD または B-MD を押したあと ■ を押す

・ソース(音源)が「A MD」または「B MD」になります。例はA MDデッキを選んだときです。

2 再生モードを押して「AMD PROGRAM(プログラム)」を選ぶ

・押すごとに変わります。

例：A MDデッキのプログラム演奏のとき

3 数字ボタン(1〜10、+10)を押してプログラムする

(例：2➡5➡12曲目の順に予約するとき)

・予約の最後の曲番号と順番、プログラムの合計時間が表示されます。ただし、2:29:59 を超えると－:－－表示になります。

4 A-MDを押す➡プログラム演奏スタート

・プログラムした順に演奏されます。演奏が終わると自動停止しますがプログラムは残ります。

●プログラム内容の確認(停止状態のときのみ)

▶▶|を押すごとに、プログラム1からの曲番号とプログラムの順番が表示されます。合計時間の表示は変わりません。

●プログラムを間違えたときは

停止状態のときCANCELを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。

「A MD(またはB MD) PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまで押し続けると、プログラムが全て取り消されます。

●プログラム演奏のモードを取り消すには

MD停止中に**再生モード**を押してソース(音源)の表示にします。この場合、プログラム内容は残ります。

MDを取り出す、または電源を切ったときも取り消されます。プログラムも全て取り消されます。

〈お知らせ〉

- 同じ曲を32曲プログラムすることもできます。
- プログラム演奏を利用すると、MDに収録されている曲の中から、好きな曲だけを選んで聞くことができます。なお、プログラムしてB MDデッキにシンクロ録音するときは、上記の手順**4**の操作は必要ありません。
- リピート演奏(➡27ページ参照)と併用すると、プログラムした曲をくり返して聞くことができます。
- A MDデッキとB MDデッキを、一緒にプログラムすることはできません。別々にプログラムしてください。
- タイマー再生を利用する場合、いったん電源を切ってしまうためプログラム演奏はできません。

無作為な順番で聞く(ランダム演奏)

本機が曲順を無作為(ランダム)に選んで演奏します。

1 A-MD または B-MD を押したあと ■ を押す

・ソース(音源)が「A MD」または「B MD」になります。
例はA MDデッキを選んだときです。

演奏がとまったら

2 再生モード を押して「AMD RANDOM(ランダム)」を選ぶ

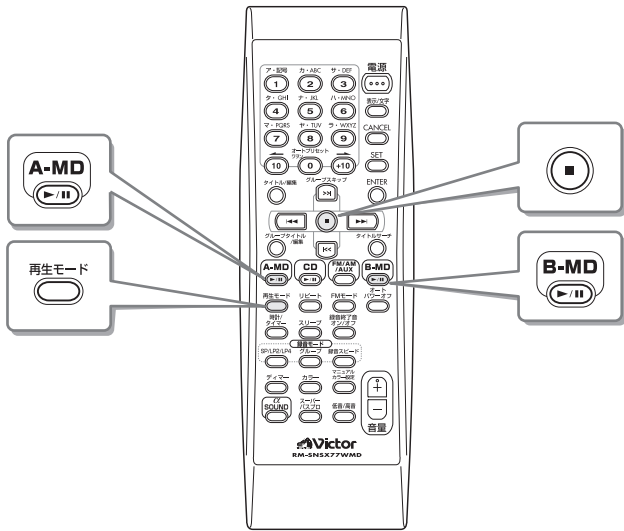
・押すごとに変わります。

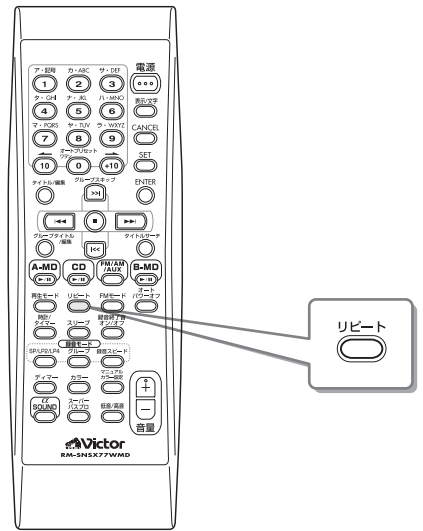
例：A MDのランダム演奏のとき

3 A-MD を押す ➡ランダム演奏スタート

・無作為な順番に全曲を演奏すると、自動停止します。

● ランダム演奏のモードを解除するには

次のいずれかの操作をします。
・MDを取り出す
・停止中に**再生モード**を押して「RANDOM」表示を消す
・電源を切る

くり返して聞く(リピート演奏)

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

1 A-MD または B-MD を押す

・ソース(音源)が「A MD」または「B MD」になります。
例はA MDデッキを選んだときです。

2 リピート を押してリピート演奏のモードを選ぶ

・押すごとに変わります。

＊ A MDデッキとB MDデッキにMDが入っているときのみ(プログラム演奏などのプレイモードが設定されていないとき)

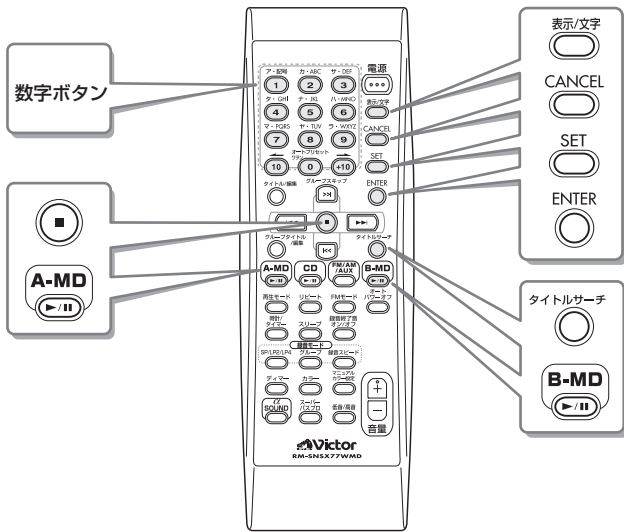
● リピート演奏をやめるには

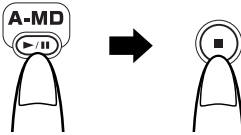
リピートを押して「A MD(またはB MD) REPEAT OFF」を選び、リピート解除にします。

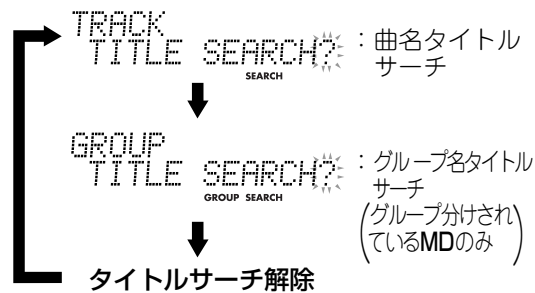
● ランダム演奏をくり返すには

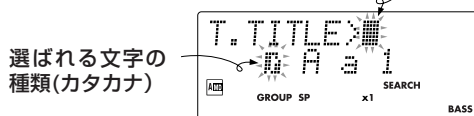
ランダム演奏中に**リピート**を押して「A MD(またはB MD) REPEAT 1 MD」にすると、全曲リピートのランダム演奏になります。

MDのタイトルサーチ ー番号順に操作します。ー

曲名またはグループ名の頭から1～5文字を入力すると、その曲から聞くことができます。これをタイトルサーチといいます。また曲名(グループ名)のついていない曲を探すこともできます。

1 タイトルサーチをしたいMDデッキ(A MDまたはB MD)を選び⊡押す

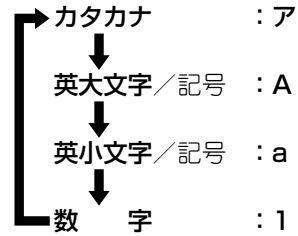
・ソース(音源)が「A MD」または「B MD」になります。
例はA MDデッキを選んだときです。

演奏がとまったら

2 (タイトルサーチ)を押して「TRACK TITLE SEARCH?」または「GROUP TITLE SEARCH?」を選ぶ

3 (SET)を押す

例：曲名タイトルサーチのとき

・カタカナを入力するモードになります。

手順**4**へ進む　　手順**6**へ進む

4 (表示/文字)で文字の種類を選ぶ

押すごとに変わります。

詳しくは➡29ページ「文字配列表」参照

5 聞きたい曲の曲名(1～5文字)を入力する

5-1 数字ボタン(1～9、0)で文字を選ぶ

(例：カタカナのとき)

・ア行の文字の入力は…

1ボタンを押すと、
押すごとに

ア→イ→ウ→エ→オ
→ォ←ェ←ゥ←ィ←ァ←

と選べます。

(ワヲンと゛ ー ゜は、0ボタンを使います)

5-2 (+10)ボタンを押して確定する
(カーソルが右へ移動します)

・空白(スペース)を入れるときも＋10ボタンを押します。

・別の数字ボタンを押したときも確定できます。
・間違えたときは**CANCEL**で取り消します。
・手順**4**と**5**のくり返しで残りの2～5文字を入力します。
・途中の文字を消したいときは10ボタンでカーソルを文字に合わせ**CANCEL**を押します。そのあと文字を選び＋10ボタンを押すと、文字の修正ができます。

6 (ENTER)を押す

・表示窓に「SEARCH」表示が点滅し選曲動作に入ります。

29 ページへ続く

● 曲名がついている曲を探しているとき

入力した文字で始まる曲があると：

曲名が表示され、その曲の演奏が始まります。
その曲の演奏が終了すると、再び曲を探しMDの最後まで探して同じ文字で始まる曲があると演奏になります。曲がないときは、「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

入力した文字で始まる曲がないと：

「NOT FOUND」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

● 曲名のついていない曲を探しているとき

NO TITLEの曲があると：

その曲を演奏します。その曲の演奏が終了すると再びNO TITLEの曲を探します。MDの最後まで探してもないときは、「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

全て曲名がついていると：

「NOT FOUND」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

● タイトルサーチの動作を途中で解除するには

タイトルサーチを押して「タイトルサーチ解除」にします。
■（停止）を押したときも解除されます。

〈お知らせ〉

- **１文字だけ入力したときは、その文字で始まる曲を全て探します。**
- **スペース（空白）の後ろに文字があるときに限り、スペースも含めた文字として探します。**
- **英大文字と英小文字は、区別して探します。**
- 「゛」や「゜」は、半濁音や濁音になる文字以外には入れることができません。
- **タイトルサーチ**を押すと、**MD**のプレイモードやリピートモードが解除されタイトルサーチのモードになります。
- 曲名タイトルサーチで演奏中に**▶▶I**を押すと「**SEARCH**」が再び点滅表示され、別の曲を探します。ただし、**▶▶I**を押して、次の曲の頭出しをすることはできません。
- グループ名タイトルサーチで演奏中に**グループスキップ>>I** を押すと「**SEARCH**」が再び点滅表示され、別のグループを探します。ただし、**グループスキップ>>I** を押して、次のグループの頭出しをすることはできません。

● 文字配列表

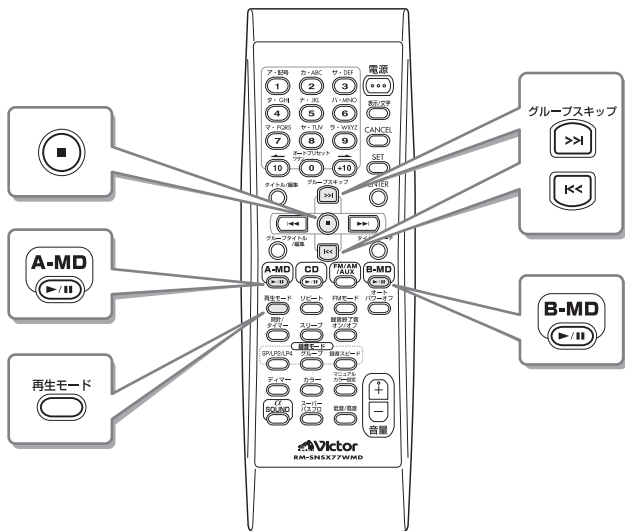
ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
オートプリセット ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊記号で表示する内容

□スペース(空白)			!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+
,	ー	.	/	:	;	<	=	>	?	@	_	`	

聞く

MDのグループ演奏

グループ設定されているMDは、グループ機能*を使うことができます。

＊グループ機能とは…

ステレオ長時間録音（MD LP）により１枚のMDに多くの曲が録音できるようになりました。このMDに録音された曲をいくつかの**まとまり**（グループ）に分けて利用する機能のことです。

１曲でもグループにすることができ、１枚のMDが全部で99グループに分けられます。

1 グループ分けされているMDを A MDまたはB MDデッキに入れる

2 A-MD または B-MD を押してから ■ を押す

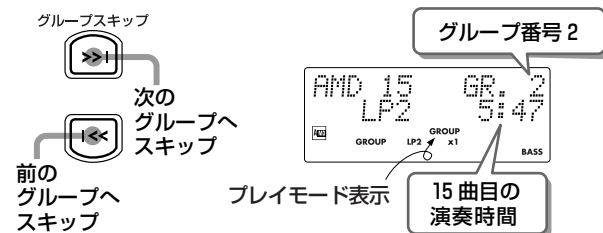
● ソース（音源）が「A MD」または「B MD」になります。
操作例はA MDデッキを選んだときです。

演奏がとまったら

3 再生モード を押して「A MD GROUP」を選ぶ

・押すごとに変わります。

4 グループスキップ >>I（またはI<<）を押して演奏したいグループを選ぶ

例：グループ２を選んだとき

5 A-MD を押す

● グループ演奏がスタートし、グループ内の全曲を演奏し終わると自動停止します。

● グループ演奏中に数字ボタン（１～10）を押すと、その曲があるグループのグループ演奏になります。グループにないときは、通常の演奏になります。
● グループ分けされていないMDのとき、AMD ▶/II（またはBMD ▶/II）を押すとグループ演奏のモードが解除され通常の演奏になります。

● くり返しグループ演奏する

グループ演奏中にリモコンの**リピート**を押して「REPEAT 1 MD」を選ぶと、グループ内の全曲をくり返して聞くことができます。

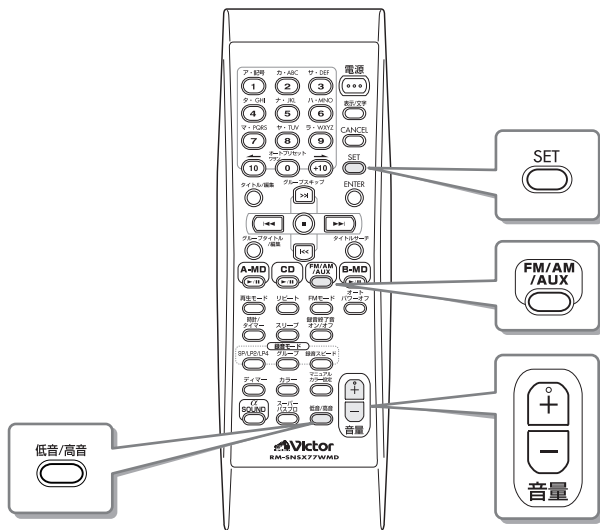
● 演奏グループを変える（グループスキップ）

グループ演奏中に**グループスキップ>>I**（または**グループスキップI<<**）を押します。
・通常の演奏中にグループスキップをすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

● グループ演奏のモードを解除する

停止中に**再生モード**をくり返し押して、プレイモード表示を「GROUP」以外にします。
タイトルサーチを押したときもグループ演奏のモードが解除され、MDのタイトルサーチになります。
またMDを取り出すか電源を「切」にしたときも解除されます。

他の機器の音声を聞く

本機背面のAUX IN端子に接続した他のオーディオ機器の音声を楽しむことができます。
・ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

ご注意

- 接続するときは、接続する機器だけでなく、本機側も必ず電源を「切」にしてから接続してください。

1 背面のAUX IN端子に他の機器をつなぐ

- レコードプレーヤーを接続するときは、フォノイコライザーが必要です。
（➡⑬ページ「他の機器、電源コードの接続」参照）

2 FM/AM/AUX（本体は FM/AM/AUX）を押して「AUX」を選ぶ

・電源が入りソース（音源）がAUXになります。

3 他の機器の演奏を始める

- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量、音質などを調節する

他の機器の音声入力レベルを調節する

接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。
ソース（音源）がAUXのとき操作します。

1 入力レベルが表示されるまで SET を押し続け、レベルを選ぶ

SETを押し続けるごとに次のように切り換わります。

・LEVEL 1　：他の機器からの音声**入力レベルが大きいときに選びます。**レベルが小さくなります。（お買い上げ時の設定）

↕

・LEVEL 2　：他の機器からの音声**入力レベルが小さいときに選びます。**レベルが大きくなります。

表示された音声入力レベルは、約 3 秒で消えます。

聞く

録音する前に

本機では、B MDへの録音ができます。

B MDに録音するとき

MDに録音できるソース(音源)

B MDには、CD、A MD、放送(ラジオ)、接続した他の機器の音声(AUX)が録音できます。

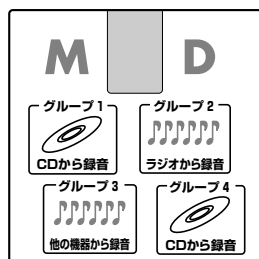
MDでできる録音

● ステレオ長時間録音(MDLP)

全てのソース(音源)の音声を録音するときに使えます。
本機は、ステレオ長時間録音(MDLP)に対応しています。録音モード(SP:標準/LP 2:2倍長/LP 4:4倍長)のLP 2またはLP 4を使うと、ステレオ音声のまま2倍長または4倍長の長時間で録音できます。(➡34ページ「**録音モードの設定**」参照)

● グループ録音

全てのソース(音源)の音声を録音するときに使えます。
録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます(お買い上げ時の設定)。

グループ録音のイメージ図

MD LPで長時間録音するとき、ソース(音源)ごとまたはCDごとなどにグループ分けしておくと、1枚のMDがチェンジャーのように使えます。

・グループとして録音しない設定にすることもできます。(➡34ページ「**グループ録音の設定**」参照)

● CDの4倍速録音

CDの音声を録音するときに使えます。
本機は、CDをB MDに等速/4倍速で録音することができます。CDを従来の約1/4の時間で録音できます。
(➡35ページ「**CDの録音**」参照)
・**CDの4倍速録音中は、CDの演奏音を聞くことはできません。音量や音質調節をすると、「CANNOT LISTEN(リッスン)!」と表示されます。**

● A MDの倍速録音

A MDの音声を録音するときに使えます。
本機は、A MDをB MDに等速/倍速で録音することができます。A MDを従来の半分の時間で録音できます。
(➡36ページ「**A MDの録音**」参照)
・**AMDの倍速録音中は、AMDの演奏音を聞くことはできません。音量や音質調節をすると、「CANNOT LISTEN(リッスン)!」と表示されます。**

● CDまたはA MDの1曲録音

CDまたはA MDの音声を録音するときに使えます。
演奏中の1曲だけを録音することができます。
(演奏中に録音状態にすると、1曲のみ録音されます)

● シンクロ録音

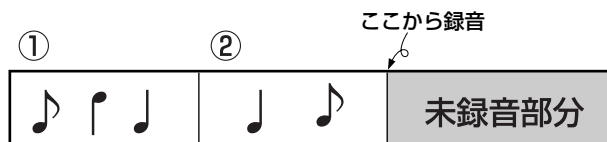
CDまたはA MDの音声を録音するときは、シンクロ録音になります。
CDまたはA MDの演奏開始と同時に録音を開始します。演奏が終了すると録音も終了します。

トラックマークについて

MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。
- **CDまたはA MDを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。手動でトラックマークをつけることはできません。**
- 放送(ラジオ)や他の機器の音声(AUX)を録音中は、トラックマークをつけたいところでリモコンのSETを押してトラックマークをつけることができます。

〈お知らせ〉
- 他の機器の音声(AUX)の録音中は、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。

録音をする前に

- 大切な録音の場合は必ず試し録音をして、設定通りに録音できることをお確かめのうえ、ご利用ください。
- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。
- 音楽CDの音は、デジタル信号のまま録音されます。
  CD-R/RWの音は、「SCMS CANNOT COPY」が表示された場合、アナログ信号に変換されて録音されます。このとき4倍速録音は、自動的に等速録音に切り換わります。
  A MDの音は、アナログ信号に変換されて録音されます。
  放送(ラジオ)や他の機器の音声(AUX)はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- **途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。**

テープのように上書きで録音することはできません。新たに録音し直すときは、ALL ERASE(➡45ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。

- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(➡41ページ参照)。
- **MDは通常ステレオで録音されます。**
- **録音中は、音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。**
- **録音レベルの調節は必要ありません。**
  ALC録音方式のため自動でレベルが設定されます。
- **録音を一時停止することはできません。**
- **CDまたはA MDをリピート演奏のモードで録音状態にすると、リピート演奏のモードが一時的に解除されます。録音が終わると、再びリピート演奏のモードが表示されます。ただし、REPEAT ALL MDは解除されます。**
- **録音中にB MD▲ボタンを押すと、「CANCEL REC? PUSH STOP!」が表示され録音を継続します。録音を中止するときは■(停止)ボタンを押してください。**
- **再生専用のMDには録音・編集はできません。**

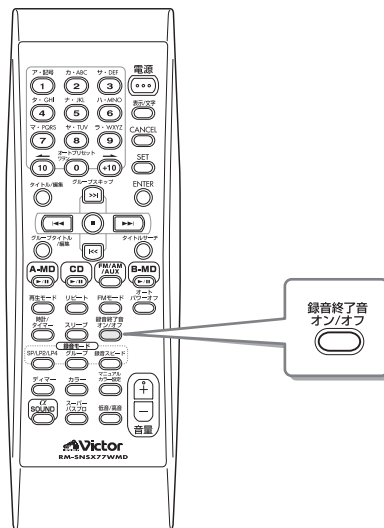
ご注意

- MDの録音/編集中には、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。

MDカートリッジのラベルについて

- MDカートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

録音終了音(ビープ音)を設定する

本機は、録音終了時に「ピー」という確認音が鳴ります。鳴らなくすることもできます。

ソース(音源)に関係なく、**録音終了音オン/オフ**を押すごとに設定できます。

BEEP OFF ：**確認音は鳴りません。**

↕

BEEP ON ：**確認音が鳴ります。録音が自動停止すると「ピー」音(倍速/4倍速録音のときは「ピー・ピー・ピー」音)が鳴ります。(お買い上げ時の設定)**

MDに録音する

● ステレオ長時間録音(MD**LP**)について

本機はステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間録音(MD**LP**)に対応しています。
1枚のMDに違うモード(SP:標準/LP2:2倍長時間/LP4:4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。MDの録音残量表示は録音モードの設定に応じて変わります。

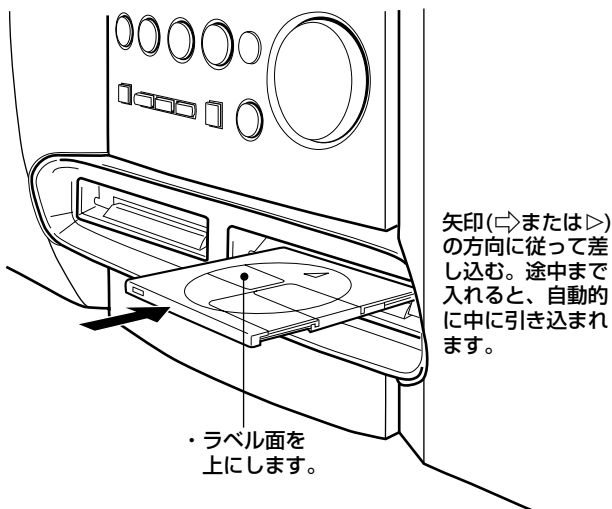
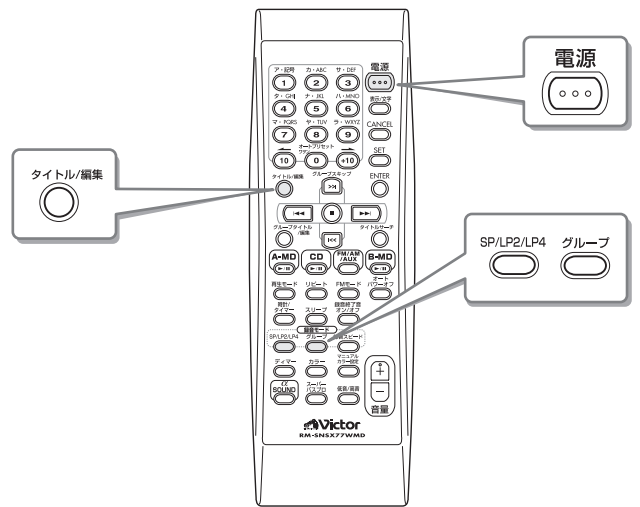
SP　:**標準のステレオ録音**
　(MD80で最大80分の録音)
LP2　:**2倍長時間録音(ステレオ)**
　(MD80で最大160分の録音)
LP4　:**4倍長時間録音(ステレオ)**
　(MD80で最大320分の録音)
　ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

〈お知らせ〉
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。

ご注意
- **本機でステレオ長時間録音された曲は、「MDLP」の再生に対応していない機器では演奏できません。**曲タイトルの始めにLP:と表示され、無音状態になります。「MD**LP**」に対応した機器で演奏すると、LP:は表示されません。またLP:をつけない設定にすることもできます。
- MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。

● 録音用MDの入れかた

1 電源 を押して電源を入れる

2 録音用のMDをB MDデッキに入れる

MDに録音する前の設定

録音モードの設定

事前に録音するソース(音源)を選んでから、ステレオ長時間録音(MD**LP**)のモードを設定します。

SP/LP2/LP4 **を押して録音モードを設定する**

ボタンを押すごとにモードが変わり、表示窓に表示されます。

LP:の設定

ステレオ長時間録音された曲の頭の部分にLP:を「つける/つけない」の設定をします。

タイトル/編集 **を2秒以上押して設定する**

(LP:) OFF　:「LP:」をつけないで録音
↕
(LP:) ON　:「LP:」をつけて録音
　(お買い上げ時の状態)

グループ録音の設定

これから録音する曲や放送などを一つのグループとして録音するときGROUP ONに設定します。

グループ **を押して設定する**

GROUP MODE:グループとして録音します。表示窓にGROUP表示が点灯します。(お買い上げ時の状態)
↕
GROUP OFF　:グループ録音はしません。表示窓のGROUP表示は点灯しません。

〈お知らせ〉
- 録音モード(SP/LP2/LP4)の設定は、ソース(音源)ごとにできます。ただし、FM放送とAM放送を別々に設定することはできません。

CDの録音(等速／4倍速)

CDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する1曲録音ができます。
・録音レベルは自動調節されます(ALC録音方式)。

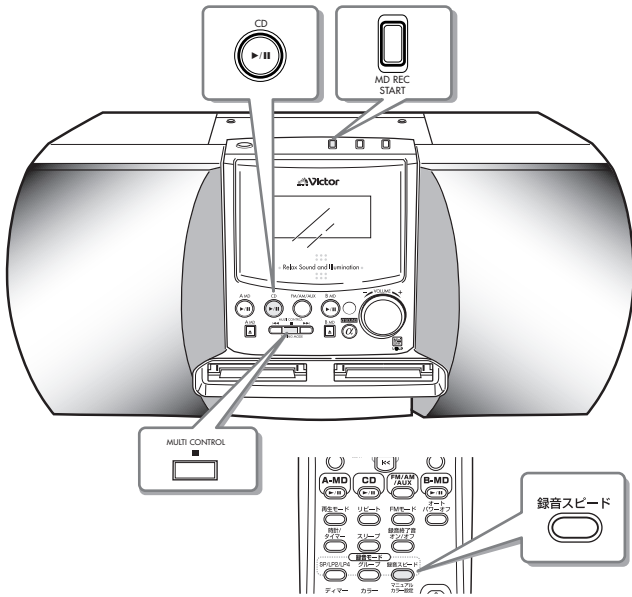
HCMS(4倍速録音での著作権保護)について

4倍速録音では、著作権保護のため4倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(➡59ページ参照)。

- この規定により、CDから一度4倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音(4倍速)はできません。等速録音はできます。
- 74分が経過する前に同じ曲を4倍速録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

ご注意

- 4倍速録音中は、音を聞くことはできません。
- 4倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、次のような症状が出ることがあります。
  ・MDにノイズが録音される。
  ・MDに不要なトラックができたり、録音が途中で停止する。

このようなときは、等速で録音し直してください。

● 全曲(またはプログラムした曲)の録音

1 CD ►/II を押してから ■ を押す

- ソース(音源)が「CD」になります。
  停止状態になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 録音用のMDをB MDデッキに入れる

録音モードの設定、LP：の設定およびグループ録音の設定を確認しておきます。➡34ページ「**MDに録音する前の設定**」参照

- 誤消去防止用のつまみを閉じておきます(➡8ページ参照)。

● 好きな曲だけ録音するには(等速録音のみ)

①リモコンの**再生モード**を押して「CD PROGRAM」を選ぶ
②数字ボタンを押して曲をプログラムする
➡詳しくは22ページ「**プログラム演奏**」参照

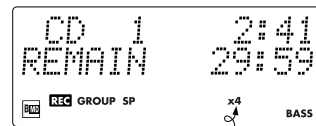
3 リモコンの 録音スピード を押して録音スピードを選ぶ

×1 SPEED (等速録音)
↕
×4 SPEED (4倍速録音)

・押すごとに変わります。

- **CDのプログラム演奏、ランダム演奏のモードのときは4倍速録音ができません(手順4の操作をすると「×4 CANNOT COPY」が表示されます)。必ず等速録音を選んでください。**

4 MD REC START を押す

CDの演奏開始と同時にB MDの録音もスタートします(シンクロ録音)。REC 表示が点灯します。
例： 4倍速録音のとき

録音スピード表示

B MDの録音が終わると「WRITING」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音(4倍速のときは「ピー・ピー・ピー」音)が鳴り、録音の終わりを知らせます。CDの演奏が終わったときも自動停止します。

● 途中で録音をやめる

■(停止)を押します。
CDとB MDが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

● ►►Iまたは I◄◄で曲番号を指定する

通常のCDの場合、指定した曲番号以降の曲を録音します。手順**4**でMD REC STARTを押す前に操作してください。

● 演奏中の曲だけを録音する(1曲録音)

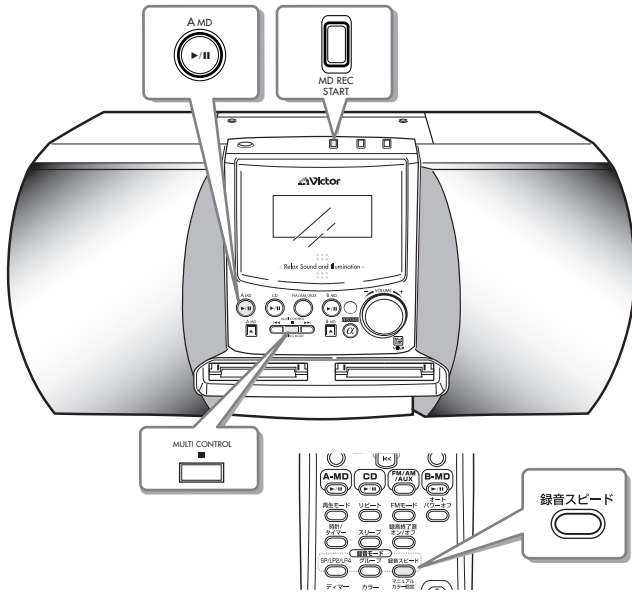
録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に、MD REC STARTを押します。「1 TR. ➡B MD･･･」が表示され、演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。1曲録音が終わると、CDとB MDが自動停止します。このとき「ピー」音(4倍速録音のときは「ピー・ピー・ピー」音)が鳴り、録音の終わりを知らせます。

MDに録音する(つづき)

A MDの録音(等速／倍速)

A MDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する１曲録音ができます。
・録音レベルは自動調節されます(ALC録音方式)。

ご注意

- MDの倍速録音の場合、MD REC STARTを押した時点で録音開始と判断されます。すぐに■(停止)を押していったん中止したあと再度倍速録音をしようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

● 全曲(またはプログラムした曲)の録音

1 **A MD ►/II を押してから ■ を押す**

- ソース(音源)が「A MD」になります。
停止状態になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 **録音用のMDをB MDデッキに入れる**

録音モードの設定、LP：の設定およびグループ録音の設定を確認しておきます。➡34ページ「**MDに録音する前の設定**」参照

- 誤消去防止用のつまみを閉じておきます(➡8ページ参照)。

- **好きな曲だけ録音するには**
①リモコンの**再生モード**を押して「AMD PROGRAM」を選ぶ
②数字ボタンを押して曲をプログラムする
➡詳しくは26ページ「**プログラム演奏**」参照

3 **リモコンの 録音スピード を押して録音スピードを選ぶ**

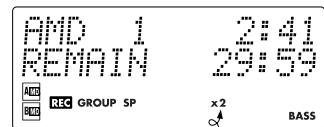
×1 SPEED (等速録音)
↕
×2 SPEED (倍速録音)

・押すごとに変わります。

- A MDのランダム演奏のモードのときは録音ができません(手順**4**の操作をすると「A MD RANDOM CANNOT REC!」が表示されます)。

4 **MD REC START を押す**

A MDの演奏開始と同時にB MDの録音もスタートします(シンクロ録音)。REC 表示が点灯します。

例：倍速録音のとき

録音スピード表示

B MDの録音が終わると「WRITING」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音(倍速録音のときは「ピー・ピー・ピー」音)が鳴り、録音の終わりを知らせます。A MDの演奏が終わったときも自動停止します。

● **途中で録音をやめる**
■(停止)を押します。
A MDとB MDが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

● **►►Iまたは I◄◄で曲番号を指定する**
指定した曲番号以降の曲を録音します。
手順**4**でMD REC STARTを押す前に操作してください。

● **演奏中の曲だけを録音する(１曲録音)**
録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に、MD REC STARTを押します。「1 TR.➡BMD…」が表示され、演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。１曲録音が終わると、A MDとB MDが自動停止します。このとき「ピー」音(倍速録音のときは「ピー・ピー・ピー」音)が鳴り、録音の終わりを知らせます。

● 録音中の表示窓の表示を変える

リモコンの**表示／文字**を押します。押すごとに次のように変わります。

リモコン

A MDの曲番号表示と演奏の残り時間
B MDの録音残量時間(REMAIN)

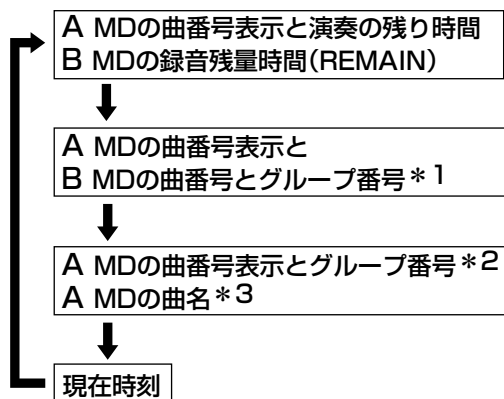
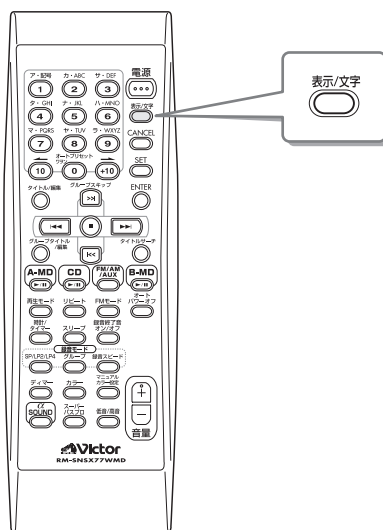
↓

A MDの曲番号表示と
B MDの曲番号とグループ番号＊1

↓

A MDの曲番号表示とグループ番号＊2
A MDの曲名＊3

↓

現在時刻

＊1　グループ録音モードが「オン」のとき表示されます。
＊2　グループ分けされていないときは、表示されません。
＊3　記録されていないときは、「TRACK NO TITLE」が表示されます。

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

倍速録音では､著作権保護のため倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(➡59ページ参照)。

- この規定により、A MDから一度倍速録音したMDは、そのMDの録音開始から74分が経過しないと、そのMDの再録音(倍速)はできません。また別のMDを 74分以内に続けて録音するときは、 5 枚までになります。
- 74分が経過する前に同じMD(または 6 枚目)を倍速録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

ご注意

- 倍速録音中は、音を聞くことはできません。
- 倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、A MDの状態によっては正しく録音されず、次のような症状が出ることがあります。
  - **・MDにノイズが録音される。**
  - **・MDに不要なトラックができたり、録音が途中で停止する。**

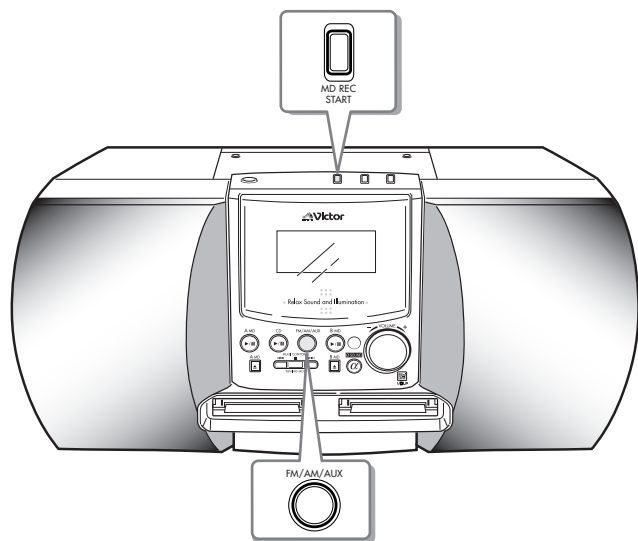
このようなときは、等速で録音し直してください。

〈お知らせ〉

- MDを入れたあと約10秒間は､MD REC STARTを押しても録音はスタートしません。これは､録音の準備をしているためです。
- 録音モードが長時間(SP➡LP 2➡LP 4)になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。
- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP／LP 2 ／LP 4)に応じて異なります。
  例えば標準モードのSPで録音したMDの場合､残り10分という残量表示は、 2 倍長時間録音(LP 2)ではその 2 倍の約20分となります。
- 録音を一時停止することはできません。
- MDに曲タイトルがついていると、録音中に曲タイトルもコピーされます。ディスク名は、未使用のMDに録音にするときに限りコピーされます。なお、グループ名はコピーされません。
- コピーされる文字数は、最大 61文字までです。
- A MDの録音中は、周期的に動作音がしますが故障ではありません。

MDに録音する(つづき)

放送(ラジオ)や他の機器の音声を録音

放送(ラジオ)の録音や他の機器からの録音ができます。
・録音レベルは自動調節されます(ALC録音方式)。

1 録音したいソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操　作
放　送 (ラジオ)	FM/AM/AUXを押してFMまたはAMを選び、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声 (AUX)	FM/AM/AUXを押してAUXを選び、他の機器の演奏を準備する。 あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡31ページ参照)。

2 録音用のMDをB MDデッキに入れる

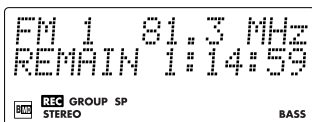
録音モードの設定、LP:の設定およびグループ録音の設定を確認しておきます(➡34ページ「**MDに録音する前の設定**」参照)。録音スピードは等速のみになります。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡8ページ参照)。

3 を押す

MD REC START

録音がスタートし、REC表示が点灯します。
- 他の機器からの音声を録音する場合、接続した機器の演奏を始めます。

例:FM放送を録音するとき

```
FM 1  81.3 MHz
REMAIN 1:14:59
```
REC GROUP SP STEREO BASS

● 表示窓の表示を変える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、録音中のソース(音源)名とB MDの録音残量時間、B MDの曲番号・グループ番号、現在時刻などに切り換わります。

● MDの録音が終わると

「WRITING」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音が鳴り、録音の終わりを知らせます。

● 録音を途中でやめるには

■(停止)を押します。
「WRITING」が表示され録音が停止します。

● 録音中に無音部分が3秒以上続くと(AUX時のみ)

他の機器の音声(AUX)の録音のとき無音部分が3秒以上続くと、曲の変わり目として区切られ、トラックマークがつき曲番号も変わります。
ただし曲間が短かったり雑音が多いと区切られないことがあります。

● 曲番号(トラックマーク)をつけるには

他の機器の音声(AUX)や放送などを録音中に、リモコンのSETを押すと曲番号(トラックマーク)をつけることができます。
このとき表示窓に「TRACK MARKING」が約4秒間表示されます。
このとき、リモコンの**表示/文字**を押してMDの曲番号表示に切換えておくと、SETを押したとき曲番号が変わり受けつけたことが分かります。

〈お知らせ〉
- MDを入れたあと約10秒間は、MD REC STARTを押しても録音はスタートしません。これは、録音の準備をしているためです。
- 録音モードが長時間(SP➡LP 2➡LP 4)になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。
- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP/LP 2/LP 4)に応じて異なります。
例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP 2)ではその2倍の約20分となります。

タイトルをつける

リモコンを使ってMDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。
・ソース(音源)がB MDのときリモコンで操作します。

タイトル編集について

- タイトルは、**カタカナ、英大文字/英小文字、記号、数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

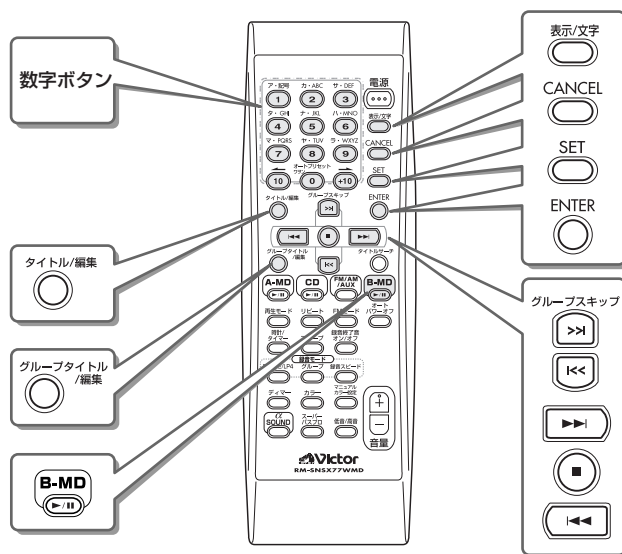
MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

例:
- ・ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
- ・ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

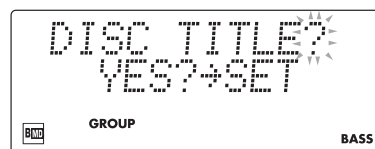
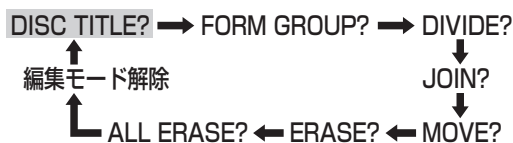
- タイトル入力の操作をしたあとで本体のB MD▲を押すと、MDが出てくる前に「WRITING」が表示され編集した内容がMDに記録されます。
「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押すとタイトル入力はいつでも解除することができます。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると「B MD PLAYBACK DISC」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「B MD DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDがプログラム演奏中またはランダム演奏中、グループ演奏中のとき、**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押してもタイトル入力はできません。
- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。
- グループ分けされていないMDは、グループタイトルをつけることができません。

1 B MDデッキにMDを入れる

・誤消去防止つまみを閉じておきます。
(➡8ページ参照)

2 B-MD を押したあと ■ を押す

ディスクタイトルをつけるとき

タイトル/編集 **を1回押す** (必ずMDが停止状態のとき操作します)

➡ディスクタイトル編集表示になります。**手順3へ**進みます。

ボタンを押すごとに以下のようにモードが選べます。

曲タイトルをつけるとき

▶▶I (または I◀◀)で曲を選び、タイトル/編集 を押す

➡曲タイトル編集表示になります。**手順3へ**進みます。

40ページへ続く

タイトルをつける(つづき)

2 グループタイトルをつけるとき

を2回押す

➡グループタイトル編集表示になります。**手順3へ**進みます。

ボタンを押すごとに以下のようにモードが選べます。

※グループ分けされていないMDは、「FORM GROUP?」と表示されグループタイトルをつけることができません。

・グループを選ぶときは、**手順3**の SET を押す前に グループスキップ >>I(または I<<)を押して選びます。
　押すごとに下のようにグループが選べます。

GROUP1 TITLE? ⟷ GROUP2 TITLE?
最後のグループ…

3 SET を押す

タイトル入力表示になります。

・すでにタイトルが入力されているときは、入力位置にそのタイトルが表示されます。タイトルの修正や追加、削除もできます。

例：ディスクタイトルをつけるとき

4 表示/文字 を押して入力文字を変更する

ボタンを押すごとに次のように文字の種類が切り換わります。

入力したい文字は41ページの**「文字配列表」**で確認してください。

5 タイトルを入力する

数字ボタンを使って、1文字ずつ入力していきます。1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返して表示させます。

例：「ス」と入力するとき

1) **表示／文字**を押して、「ア」を点滅表示させます。これで入力文字が「カナ」になります。
2) **数字ボタン** 3 (サ・DEF) を押すと、入力位置に「サ」と表示されます。
3) **数字ボタン** 3 (サ・DEF) をくり返し押すと、**「シ➡ス➡セ➡ソ➡サ…」**と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

手順4と手順5をくり返して好きなタイトルを入力してください。タイトルは61文字までつけられます。

文字入力位置を移動させるには

+10(または 10)を押します。右(または左)に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に1文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させて**CANCEL**を押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に1文字分移動します。

「空白」をつくるには

+10で入力位置を右に移動させるか、文字種「記号」からスペース(空白)を選びます。

●「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するとき**は、+10を押して文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

途中でタイトル入力をやめるには

タイトル／編集または**グループタイトル／編集**を押します。入力途中のタイトルは変更されません。通常のモードに戻ります。

6 ENTER ◎を押してタイトルを登録する

表示窓に「EDITING」が表示され、タイトルが登録されます。

ディスクタイトルのとき

1曲目の曲タイトル入力モードになります。
タイトル入力を終了するときは、手順**7**へ進みます。

曲タイトル、グループタイトルのとき

- 次のタイトル入力表示が現われます。引き続き、手順**3**〜**6**をくり返してタイトル入力を行うこともできます。
- 最後の曲またはグループにタイトルをつけ終わると、再び最後の曲またはグループの入力待ちに戻ります。手順**7**へ進みます。

7 ENTER ◎を押してタイトル入力を終了する

通常のモードに戻ります。

- **タイトル／編集またはグループタイトル／編集を押して、通常のモードに戻すこともできます。**
- **MDを取り出すときは、本体のB MD▲を押します。**

MDが出てくる前に「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

録音中のタイトル入力について

- **タイトル／編集**を押したときの曲、または ▶▶I（I◀◀）で選んだ曲にタイトルをつけます。
  グループタイトル／編集を押したときのグループにタイトルをつけます。
- 録音が終了するまでENTERを押さなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

タイトルリザーブ機能

CDを録音中（1曲録音は除く）は、録音中に限り 16 曲分の曲名を先行して入力できます。これをタイトルリザーブといいます。ただし、録音する曲より多くの曲名を入力すると、はみ出した曲名は取り消されます。

ご注意

- 「WRITING」が点滅表示される前に、電源コードをコンセントから抜くと編集した内容は、MDに記録されません。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
オートプリセット ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊記号で表示する内容

□スペース（空白）		！	”	＃	＄	％	＆	’	（	）	＊	＋
，	ー	．	／	：	；	＜	＝	＞	？	＠	＿	｀

お知らせ

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入れることができません。

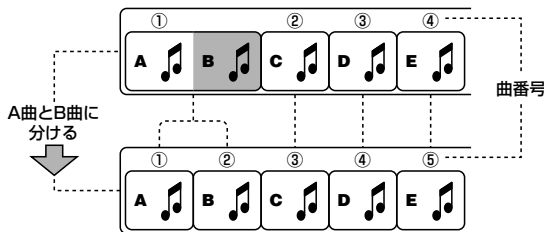
曲を編集する

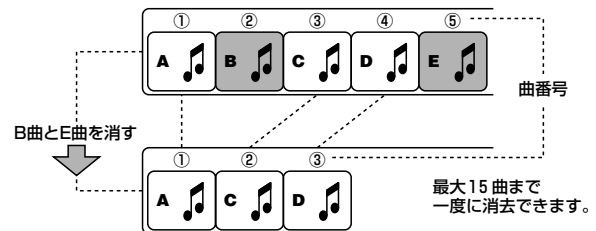
曲(トラック)編集とは

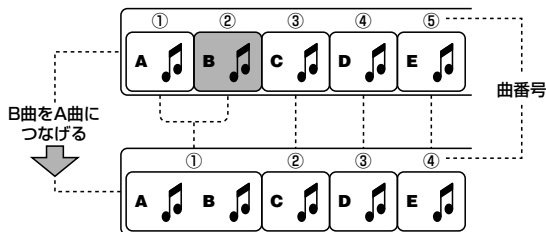
- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を削除する」、「全曲を削除する」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。B MDデッキを使います。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「B MD PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「B MD DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDがプログラム演奏中またはランダム演奏中、グループ演奏中のときは、**タイトル／編集**を押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたは**タイトル／編集**を押すと、編集操作を中止することができます。

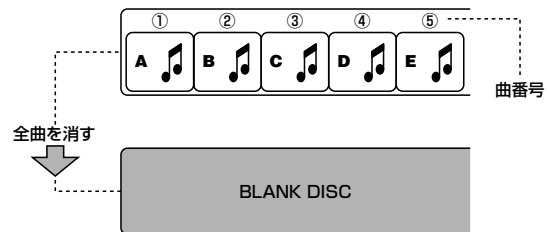
タイトル／編集を押すごとに、「DISC TITLE?」に続いて次の 5 つの機能が呼び出されます。
- **ソース(音源)がMDのとき停止中または演奏中に、リモコンで操作します。**

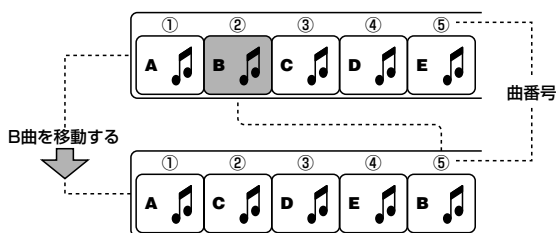
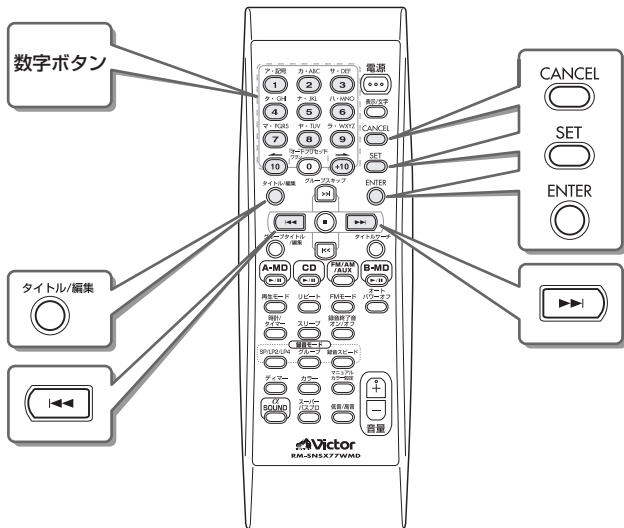
曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲を削除する(ERASE)

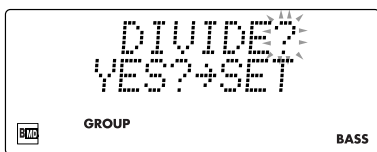
不要な曲やナレーションなど、削除したい曲を指定して削除することができます。曲番号があらたにふり直されます。

曲をつなげる(JOIN)

トラックマークを削除して、1 つ前の曲とつなげることができます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去し、ブランクディスクにします。

曲を移動する(MOVE)

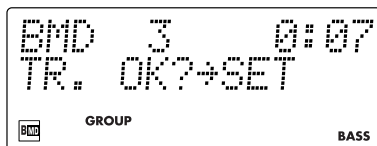
好きな順番に曲を入れ換えます。

〈お知らせ〉
- **トラックマークとは…**
  曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号(**トラックナンバー**)です。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。
編集用のMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ

2 SET を押す

MDが停止中のときは、1曲目の演奏が始まります。

3 ▶▶I(またはI◀◀)を押して分けたい曲を選ぶ

例：3曲目を選んだとき

- 数字ボタン(1～10、＋10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 演奏中に ▶▶I(I◀◀)を押し続けると、早送り(早戻し)できます。分けたいところを探すときに便利です。

4 曲を分けたいところで SET を押す

SETを押したところから4秒間(SP：標準モード時)がくり返し演奏されます。

POSITION + 0
OK?→SET

- 希望どおりに分けられたときは、手順6に進みます。
- 分けたところをやり直すには、CANCELを押します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、手順5へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 ▶▶I(またはI◀◀)を押して微調節する

±128ポジション(SP:標準モード時約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。
- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。

6 SET を押す

- 途中でやめるときは、**タイトル／編集**を押します。

7 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● もとに戻すときは

「曲をつなげる(JOIN)」(➡44ページ参照)の操作をします。

● 曲を分けることができないMDでは

254曲録音してあるMDなどは、手順4でSETを押すと「DISC FULL」が表示されます。

編集する

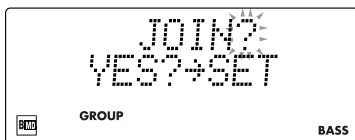
曲を編集する（つづき）

曲をつなげる（JOIN）

不要なトラックマークを取り除いて、連続する２曲を１曲にまとめることができます。１つ前の曲とつなげることができます。JOINをすると曲番号は付け直されます。
編集用のMDをBMDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 ◯ **をくり返し押して「JOIN?」を選ぶ**

2 SET ⬭ **を押す**

TR.------→TR. 1?

3 ▶▶|（または|◀◀）**を押してつなげたい曲を選ぶ**

例：５曲目を４曲目とつなぐとき

TR. 4+TR. 5?
OK?→SET

表示は「TR. 1 ＋TR. 2 ？」「TR. 2 ＋TR. 3 ？」のように次々と変わっていきます。

- 数字ボタン（１～10、＋10）を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 SET ⬭ **を押す**

<JOIN>
YES?→ENTER

- つなげる曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**タイトル／編集**を押します。

5 ENTER ◯ **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

● もとに戻すときは

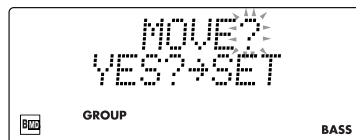
「曲を分ける（DIVIDE）」（➡43ページ参照）の操作をします。

● つなげることができない曲またはMD

- 録音モード（SP／LP２／LP４）の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。
- １曲しか録音されていないMDなどは、曲をつなげることができません。

曲を移動する（MOVE）

１つの曲を指定したところへ移動させます。
編集用のMDをBMDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 ◯ **をくり返し押して「MOVE?」を選ぶ**

2 SET ⬭ **を押す**

←TR. 1?
OK?→SET

3 ▶▶|（または|◀◀）**を押して移動したい曲を選び、** SET ⬭ **を押す**

表示は「 ←TR. 2 ？」「 ←TR. 3 ？」のように変わります。

- 数字ボタン（１～10、＋10）を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 ▶▶|（または|◀◀）**を押して移動先の曲番号を選び、** SET ⬭ **を押す**

例：３曲目を５曲目に移動する

TR. 5←TR. 3?
OK?→SET

<MOVE>
YES?→ENTER

- 数字ボタン（１～10、＋10）を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 移動先の曲がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- 移動したい曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**タイトル／編集**を押します。

5 ENTER ◯ **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

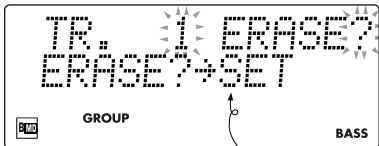
● 曲の移動できないMD

- １曲しか録音されていないMDなどは、曲の移動ができません。

曲を削除する(ERASE)

指定した曲を最大 15 曲を一度に削除できます。
曲番号は付け直されます。
編集用のMDをBMDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「ERASE?」を選ぶ

2 SET を押す

「SELECT TRACK」と交互に表示

3 ⏭(または⏮)を押して消したい曲を選ぶ

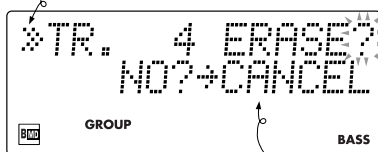
表示窓に消したい曲の曲番号が表示されます。

- 数字ボタン(1～10、＋10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 SET を押す

例: 4曲目を削除するとき

曲が選ばれた表示

>TR. 4 ERASE?
NO?→CANCEL

「SELECT TRACK」と交互に表示

- やりなおすときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**タイトル／編集**を押します。

5 手順3と4をくり返す(最大15曲まで)

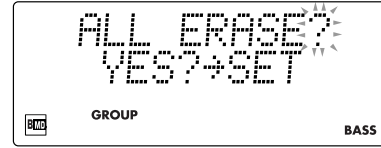
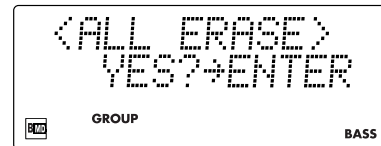
- 消したい曲を選び終わったら手順**6**へ進みます。

6 ENTER を2回押す

指定した曲が削除されます。
「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて削除し、**ブランクディスク**にします。
編集用のMDをBMDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ

2 SET を押す

- 途中でやめるときは、**タイトル／編集**を押します。

3 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、その後、「BLANK DISC」が表示されます。

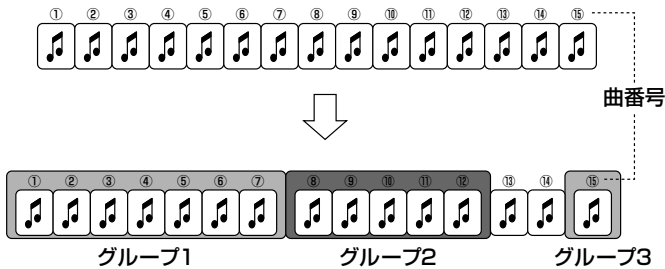
ご注意

- 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡8ページ参照)。

MDをグループ編集する

本機にはMDの新しい機能、グループ機能があります。ここでは、グループとその編集について説明します。

MDのグループ機能とは

ステレオ長時間録音(**MDLP**)によって１枚のMDに、今までよりも多くの曲(トラック)が録音できるようになりました。MDのグループ機能は、曲(トラック)を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、１曲(トラック)でも設定できます。また、連続する曲(トラック)をグループとして登録することができます。

MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**　：１つのグループの曲(トラック)だけを演奏します(➡30ページ参照)。リピート演奏もできます。
- **グループ録音**　：録音と同時に、複数の曲(トラック)をまとめて１つのグループとして登録できます(➡34ページ参照)。
- **グループタイトル**：ディスクや曲(トラック)と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(➡40ページ参照)。
- **グループ編集**　：右の項目をご覧ください。

MDのグループ編集

MDのグループ編集は次の８つの機能があります。
これらの機能は、**グループタイトル／編集**を押すごとに、「GROUP1 TITLE?」に続いて呼び出されます。
これらの機能を組み合わせて使うこともできます。ソース(音源)がB MDのとき、リモコンで操作します。

- **「グループをつくる(FORM GROUP)」:**
  グループに属していない曲(トラック)から新しいグループを作ります。左の図で、13曲目と14曲目から４つめのグループを作ることです(➡47ページ参照)。

- **「グループに登録する(ENTRY GROUP)」:**
  曲をすでにあるグループに登録します。左の図で13曲目をグループ２に登録することです(➡48ページ参照)。

- **「グループを分ける(DIVIDE GROUP)」:**
  １つのグループを２つに分けます。左の図で、グループ１を2つに分けてグループ総数を4にすることです(➡48ページ参照)。

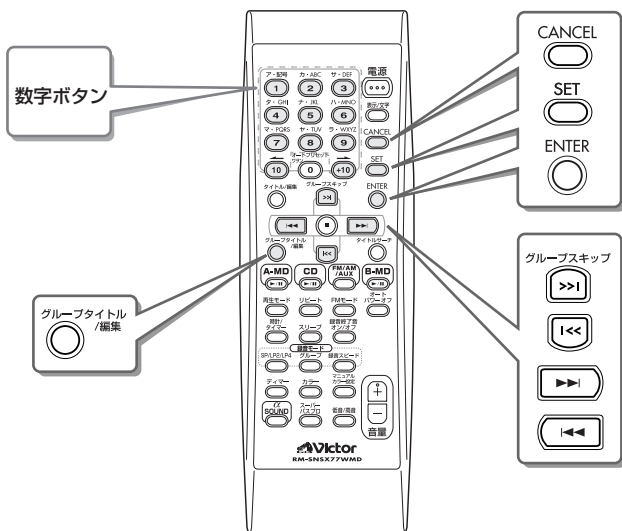
- **「グループをつなげる(JOIN GROUP)」:**
  ２つのグループをまとめて１つにします。左の図で、グループ１とグループ２を１つのグループにまとめることです(➡49ページ参照)。

- **「グループを移動する(MOVE GROUP)」:**
  グループの移動をします。左の図で、グループ２をグループ１の前に移動させることです(➡49ページ参照)。

- **「グループを解消する(UNGROUP)」:**
  １つのグループを解消します。曲(トラック)の削除はしません(➡50ページ参照)。

- **「全グループを解消する(UNGROUP ALL)」:**
  すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲(トラック)の削除はしません(➡50ページ参照)。

- **「グループを削除する(ERASE GROUP)」:**
  グループと共にグループ内のすべての曲(トラック)を削除します。左の図で、グループ２を削除すると、８曲目から12曲目までが削除されます(➡51ページ参照)。

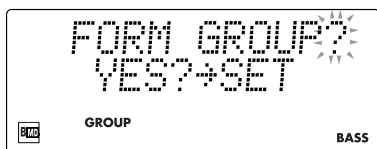
〈お知らせ〉
- グループ分けされていないMDのときは、**グループタイトル／編集**を押しても「FORM GROUP?」以外にはなりません。まずグループを作ってから他のグループ編集をしてください。

〈お知らせ〉

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「B MD PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「B MD DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDがプログラム演奏中またはランダム演奏中、グループ演奏中のときは、**グループタイトル／編集**を押しても編集モードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたは**グループタイトル／編集**を押すと、編集操作を中止することができます。

グループをつくる（FORM GROUP）

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。１曲でもグループにすることができます。
編集用のMDをBMDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「FORM GROUP?」を選ぶ

FORM GROUP?
YES?→SET
GROUP BASS

2 SET を押す

3 ▶▶I（またはI◀◀）を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SET を押す

例： 3 曲目のとき

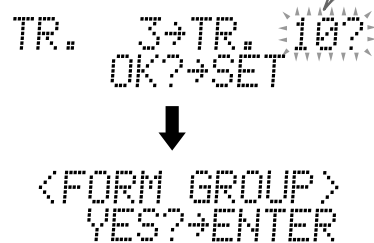
先頭の曲

- 数字ボタン（１～10、＋10）を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。

4 ▶▶I（またはI◀◀）を押して新しいグループの最後の曲を選び、SET を押す

例： 10 曲目のとき

TR. 3→TR. 10?
OK?→SET

<FORM GROUP>
YES?→ENTER

- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM」と表示され、次の手順に進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**

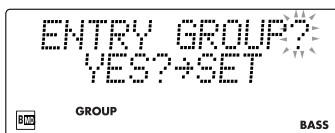
「グループを解消する（UNGROUP/UNGROUP ALL）」（➡50ページ参照）の操作をします。

MDをグループ編集する(つづき)

グループに登録する(ENTRY GROUP)

曲を1つ選び、指定したグループの最後の曲として登録します。**登録したいグループにすでに登録されている曲は、登録できません。**

編集用のMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ENTRY GROUP?」を選ぶ

2 SET を押す

3 ⏭(または⏮)を押してグループに登録する曲を選び、SET を押す

GROUP --?

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 選んだ曲がグループに登録されていると、そのグループ番号が表示されます。

4 グループスキップ >>I(またはI<<)を押して登録先のグループを選び、SET を押す

例：グループ4に登録するとき

⬇

<ENTRY GROUP>
YES?→ENTER

- すでにグループに登録されている曲を、同じグループに登録することはできません。「CANNOT ENTRY」が表示されます。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**

右の「**グループを分ける(DIVIDE GROUP)**」のあと「**指定したグループを解消する(UNGROUP)**」(➡50ページ参照)の操作をします。

グループを分ける(DIVIDE GROUP)

1つのグループを2つに分けます。新しくできる2つのグループのうち、後ろのグループの先頭の曲を指定します。グループ番号は付け直されます。

編集用のMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE GROUP?」を選ぶ

2 SET を押す

3 グループスキップ >>I(またはI<<)を押して分けるグループを選ぶ

例：グループ4を分けるとき

4 ⏭(または⏮)を押してどの曲から分けるかを選び、SET を押す

例：9曲目のとき

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**

「**グループをつなげる(JOIN GROUP**」(➡49ページ参照)の操作をします。

グループをつなげる(JOIN GROUP)

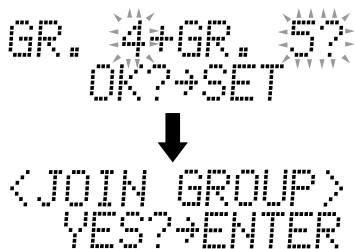
となりあう２つのグループを１つのグループにします。タイトルがついているときは、番号の小さい方のグループタイトルが残ります。グループ番号は付け直されます。
編集用のMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN GROUP?」を選ぶ**

2 SET **を押す**

3 グループスキップ ▶▶I **(または I◀◀)を押してつなげるグループの組を選び、** SET **を押す**

例：グループ５とグループ４をつなげるとき

<JOIN GROUP>
YES?→ENTER

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「ーー」と表示されます。
- ２つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、SETを押したとき「CANNOT JOIN」と表示され、つなげることはできません。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

4 ENTER **を押す**

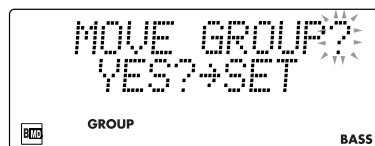
「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**

「グループを分ける(DIVIDE GROUP)」(➡㊽ページ参照)の操作をします。

グループを移動する(MOVE GROUP)

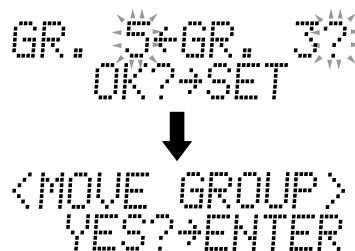
１つのグループを指定したところへ移動します。
グループ番号は付け直されます。
編集用のMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE GROUP?」を選ぶ**

2 SET **を押す**

3 グループスキップ ▶▶I **(または I◀◀)を押して移動させるグループを選び、** SET **を押す**

GR.−−+GR. 3?

4 グループスキップ ▶▶I **(または I◀◀)を押して移動先を選び、** SET **を押す**

例：グループ３をグループ５にする

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- **もとに戻すときは**

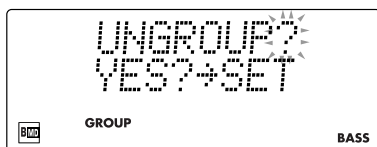
もう一度「グループを移動する(MOVE GROUP)」の操作をします。

MDをグループ編集する(つづき)

グループを解消する(UNGROUP/UNGROUP ALL)

指定したグループまたは全グループを解消して、曲のグループ登録をやめます。解消されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号は、付け直されます。
編集用のMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ

2 SET を押す

3 グループスキップ ▶▶I(またはI◀◀)を押して解消するグループを選び、SET を押す

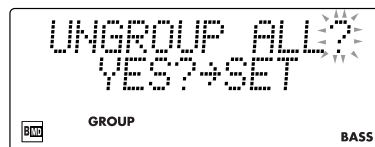
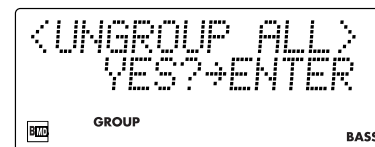
例:グループ3を解消するとき

- 途中でやめるときは、**グループタイトル/編集**を押します。

4 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全グループを解消する(UNGROUP ALL)

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGROUP ALL?」を選ぶ

2 SET を押す

- 途中でやめるときは、**グループタイトル/編集**を押します。

3 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

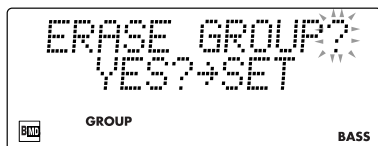
● **もとに戻すときは**

「グループをつくる(FORM GROUP)」(➡47ページ参照)の操作をします。

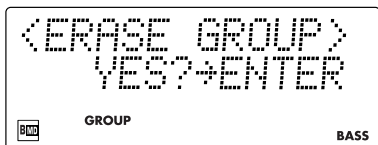
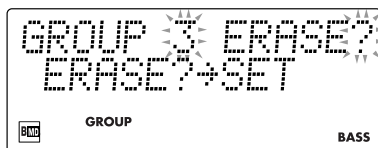
グループを削除する(ERASE GROUP)

グループをMDから削除します。削除されたグループ内の曲も同時に削除されます。グループ番号と曲番号は、付け直されます。

編集用のMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ERASE GROUP?」を選ぶ

2 SET を押す

3 グループスキップ ▶▶I(またはI◀◀)を押して削除するグループを選び、SET を押す

例：グループ 3 を削除するとき

● 途中でやめるときは、**グループタイトル／編集**を押します。

4 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

● 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡8ページ参照)。

タイマーを使う

本機では、「**録音タイマー**」「**目覚ましタイマー**」「**おやすみタイマー**」の3種類のタイマー機能を使うことができます。

タイマー操作をする前に

タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡⑭ページ参照)。
- 時計合わせをしていないと、タイマーの設定はできません。

録音タイマー(留守録音)

留守中などに本機のラジオ番組または他の機器(AUX)を留守録音するときに使います。タイマー1～タイマー3まで合計3通りで使えます。
開始時刻(電源が**「入」**になる時刻)、終了時刻(電源が**「切」**になる時刻)、録音する放送局などを設定します。
EVERYDAYを選ぶと毎日動作し、ONCEを選ぶと設定後に1回だけ動作します。
・リモコンで操作します。
・**電源「入／切」どちらの状態でも設定できます。**

1 時計/タイマー **を押してTIMER 1～TIMER 3のいずれかを選ぶ**

TIMER 1 → TIMER 2 → TIMER 3 → 現在時刻(「時」表示点滅) → ソース(音源)の表示 → TIMER 1

- 設定済みのタイマーは「⏻ 1」のように表示されます。

2 SET **を押す**

- タイマーの開始時刻(「時」表示)が点滅します。
  設定済みのときは、その開始時刻が表示されます。
- 「録音タイマー」と「目覚ましタイマー」を合計3通りで使えます。

3 ▶▶|**(または**|◀◀**)と** SET **でタイマーの設定をする**

- 設定をやり直すときはCANCELを押します。
  一つ前の設定戻ります。

MDに録音するとき　：録音用のMDをB MDデッキに忘れずに入れておきます。

- タイマーの動作時間に対し、録音残量が十分あるか確かめてください。

①開始時刻の設定

▶▶|または|◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶|または|◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。
- ▶▶|(または|◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

例：開始時刻を午後1時15分にするとき

13:15 ‑ 0:00

ご注意

- 録音タイマーでFMまたはAMをソース(音源)に選ぶとき、あらかじめ放送局をプリセットしておく必要があります(➡⑲ページ**「放送局を記憶させる(プリセット)」**参照)。

〈お知らせ〉
- タイマー1からタイマー3に「録音タイマー」または「目覚ましタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 「録音タイマー」と「目覚ましタイマー」の開始時刻が同じときは、「録音タイマー」が優先します。
- タイマー1からタイマー3の開始時刻が同じときは、タイマー1が優先します。
- タイマーがスタートしないことを避けるためタイマー1～3の開始時刻と終了時刻が重複しないように設定してください。最短で2分以上の間隔が必要です。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「録音タイマー」または「目覚ましタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。
- 他の機器(AUX)を使用するときは、タイマー機能のついた機器を接続してください。

②終了時刻の設定

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。

- ▶▶❙(または❙◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

例：終了時刻を午後 2 時15分にするとき

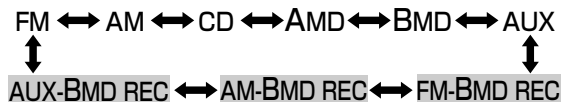
13:15 - 14:15

③毎日使用か 1 回使用を選ぶ

▶▶❙または❙◀◀を押して「EVERYDAY（エブリディ）」または「ONCE（ワンス）」を選びSETを押します。

EVERYDAY ：英会話などを毎日録音
↕
ONCE ：１回だけの録音

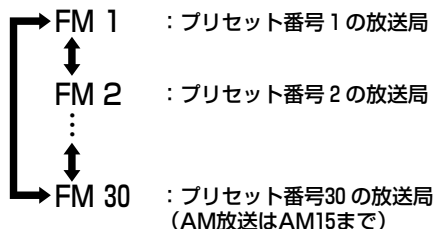
④録音先(B MD REC)を選ぶ

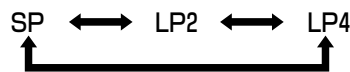
▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して「FM-BMD REC」、「AM-BMD REC」または「AUX-BMD REC」を選びSETを押します。
▶▶❙または❙◀◀を押すごとに、ソース(音源)が次のように換わります。

「AUX-BMD REC」を選んだときは手順⑥へ進みます。

⑤録音したい放送局のプリセット番号を選ぶ

▶▶❙または❙◀◀押してプリセット番号を選びSETを押します。

例：FM放送を録音するとき

FM 1 ：プリセット番号１の放送局
↕
FM 2 ：プリセット番号２の放送局
⋮
↕
FM 30 ：プリセット番号30 の放送局
（AM放送はAM15まで）

⑥MDの録音モードを選ぶ

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して録音モードを選びSETを押します。

⑦タイマー録音中のスピーカー音量の設定

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押して音量を設定しSETを押します。SETを押すと録音タイマーの設定は終わりです。

- 「VOLUME 0」を選ぶと､タイマー録音中はスピーカーから音が出ません。

録音タイマーの設定が終わると
設定内容が一通り表示されます。

●電源「入」で設定したとき

4 電源(・・・)を押して電源を「切」にする

- 表示窓に**REC**⏻表示と手順**1**で選んだタイマー番号（１～３）が点灯していることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると録音タイマーがスタートし、終了時刻になると自動的に電源が「**切**」になります。
- EVERYDAYに設定すると、解除するまで毎日録音タイマーがスタートします。

●録音タイマーを解除する

設定を解除するには、**時計／タイマー**でTIMER 1～TIMER 3 のいずれかを選びCANCELを押します。「TIMER OFF」が表示され解除されます。
REC⏻表示とタイマー番号（１～３）が消えます。

●録音タイマーを再設定する

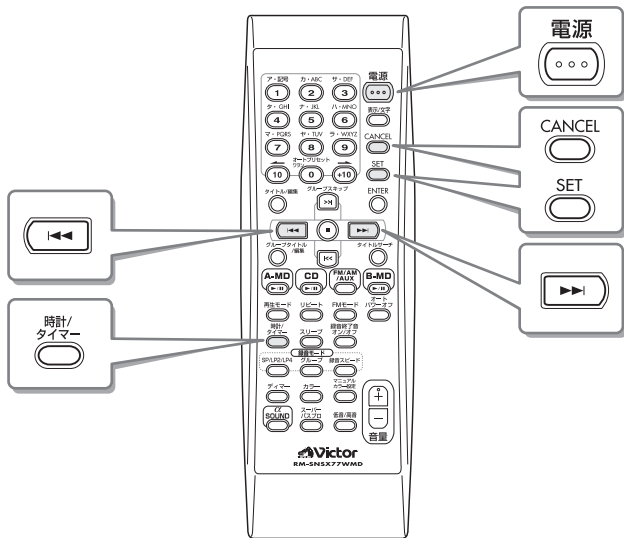
録音タイマーの設定内容は記憶されています。
再設定をするには、**時計／タイマー**でTIMER 1～TIMER 3のいずれかを選びSETをくり返し押します。
スピーカー音量まで設定し、電源を「切」にすると再設定されます。**REC**⏻表示とタイマー番号（１～３）が点灯していることを確認してください。

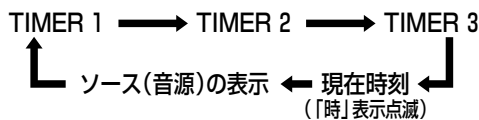
●MDのグループ録音の設定について

録音タイマーでMDに録音するとき、グループ録音の設定は、録音タイマーを設定する前または設定が終了してから行います。録音タイマー設定中は、リモコンの**グループ**を押しても設定を変えることはできません。

タイマーを使う(つづき)

目覚ましタイマー(タイマー再生)

「EVERYDAY」を選ぶと目覚ましのように毎日同じ時刻に動作します。
開始時刻(電源が「入」になる時刻)、終了時刻(電源が「切」になる時刻)、聞きたいソース(音源)、音量などを設定します。
タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります(ウェイクアップボリューム機能)。
・目覚ましタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡⑭ページ参照)。
・リモコンで操作します。
・電源「入/切」どちらの状態でも設定できます。

〈お知らせ〉
- タイマー再生中のソース(音源)としてCDやA MD、B MDを選んだときは、それぞれ演奏用のCDやMDの準備をしておきます(➡⑳㉔ページ参照)。
- CDやMDを選んだ場合、タイマー再生中にプログラム演奏またはランダム演奏をすることはできません。
- 他の機器(AUX)を使用するときは、タイマー機能のついた機器を接続してください。

1 時計/タイマー を押してTIMER 1～TIMER 3のいずれかを選ぶ

TIMER 1 ⟶ TIMER 2 ⟶ TIMER 3 ⟶ 現在時刻(「時」表示点滅) ⟶ ソース(音源)の表示 ⟶ TIMER 1

- 設定済みタイマーは、「⏻ 1」のように表示されます。

2 SET を押す

- タイマーの開始時刻(「時」表示)が点滅します。設定済みのときは、その開始時刻が表示されます。
- 「録音タイマー」と「目覚ましタイマー」を合計3通りで使えます。

3 ▶▶I(または I◀◀)と SET でタイマーの設定をする

・設定をやり直すときはCANCELを押します。
一つ前の設定に戻ります。

①開始時刻の設定

▶▶Iまたは I◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶Iまたは I◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。
- ▶▶I(またはI◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

例:開始時刻を午前6時30分にするとき

6:30 ‒ 0:00

②終了時刻の設定

▶▶Iまたは I◀◀をくり返し押して「時」を設定しSETを押します。次に▶▶Iまたは I◀◀をくり返し押して「分」を設定しSETを押します。
- ▶▶I(またはI◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

例:終了時刻を午前7時45分にするとき

③毎日使用か1回使用を選ぶ

▶▶Iまたは I◀◀を押して「EVERYDAY(エブリデイ)」または「ONCE(ワンス)」を選びSETを押します。

EVERYDAY:毎朝タイマー再生
↕
ONCE:1回だけタイマー再生

④タイマー再生中のソース(音源)を選ぶ

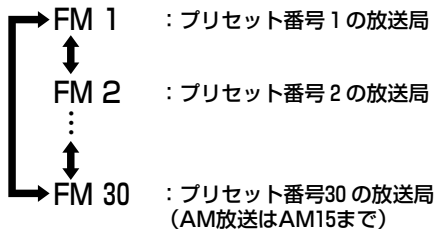
▶▶Iまたは I◀◀をくり返し押して「FM～AUX」のいずれかを選びSETを押します。
▶▶Iまたは I◀◀を押すごとに、ソース(音源)が次のように換わります。

FM ⟷ AM ⟷ CD ⟷ AMD ⟷ BMD ⟷ AUX
↕ ↕
AUX-BMD REC ⟷ AM-BMD REC ⟷ FM-BMD REC

- 「CD」または「MD」を選んだときは、もう一度SETを押してから手順⑥へ進むと1曲目からの演奏になります。▶▶Iで最初に聞きたい曲(CDは99曲目、MDは254曲目まで)を選びSETを押してから手順⑥へ進むこともできます。
- 「AUX」を選んだときは、手順⑥へ進みます。

⑤聞きたい放送局のプリセット番号を選ぶ

▶▶❙または❙◀◀をくり返し押しプリセット番号を選びSETを押します。
例：FM放送を聞くとき

FM 1 ：プリセット番号 1 の放送局
FM 2 ：プリセット番号 2 の放送局
⋮
FM 30 ：プリセット番号30 の放送局
（AM放送はAM15まで）

⑥タイマー動作中のスピーカー音量の設定

▶▶❙または❙◀◀を押して、タイマー動作中のスピーカー音量（VOLUME 0 〜VOLUME35）を設定しSETを押します。
SETを押すと目覚ましタイマーの設定は終わりです。

目覚ましタイマーの設定が終わると
設定内容が一通り表示されます。

●電源「入」で設定したとき

4 電源 を押して電源を「切」にする

- 表示窓に⏻表示と手順**1**で選んだタイマー番号（1〜3）が点灯していることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると目覚まし再生がスタートし、終了時刻になると自動的に電源が「**切**」になります。
- EVERYDAYに設定すると、毎日設定した時刻に目覚ましタイマーがスタートします。

● 目覚ましタイマーを解除する（休日前夜など）

設定を解除するには、**時計／タイマー**でTIMER 1〜TIMER 3 のいずれかを選びCANCELを押してください。「TIMER OFF」が表示され解除されます。⏻表示とタイマー番号が表示窓から消えます。

● 目覚ましタイマーを再設定する（出勤・登校の前夜など）

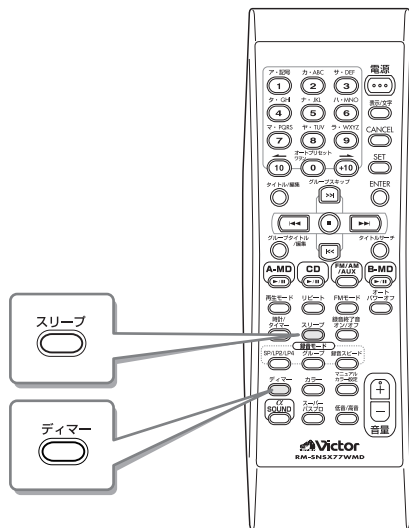
目覚ましタイマーを解除しても簡単に再設定することができます。
再設定をするには、**時計／タイマー**でTIMER 1〜TIMER 3 のいずれかを選びSETをくり返し押してください。スピーカー音量まで設定し、電源を「**切**」にすると再設定されます。⏻表示とタイマー番号（1〜3）が点灯していることを確認してください。

タイマーを使う(つづき)

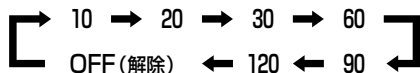
おやすみタイマー(SLEEP)

音楽や放送を聞きながら眠りたいときに使います。
電源を「**切**」にするまでの時間を設定し、おやすみください。
設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

・**おやすみタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡ 14 ページ参照)。**

● リモコンで操作します。

1 スリープを押す

「SLEEP 10」と表示されます。SLEEP表示が点灯し、ボタンを押すごとに下記のスリープ時間が選べます。

10 ➡ 20 ➡ 30 ➡ 60 ➡ 90 ➡ 120 ➡ OFF(解除) ➡ 10

● およそ 5 秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。表示窓がソース(音源)の表示に戻り、SLEEP表示が点滅に変わります。
● **ディマー**を押すと前面パネルの明るさを変えることができます(➡14ページ参照)。

● 設定したスリープ時間を変更する

・おやすみタイマー設定後に**スリープ**を 1 回押すと、電源が「**切**」になるまでの**残り時間**が表示されます。
・設定を変更するときは、**スリープ**をくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

● おやすみタイマーを取り消す

・SLEEP OFFが表示されるまで、**スリープ**をくり返し押します。SLEEP表示が消えておやすみタイマーが解除されます。
・電源を「**切**」にしたときも、おやすみタイマーは解除されます。

● おやすみタイマーでおやすみになり、目覚ましタイマーで目覚めるには

1. 目覚ましタイマーを設定する(➡54～55ページ参照)
2. 聞きたいソースを演奏する
3. **スリープ**を押してスリープ時間を設定する

⋮

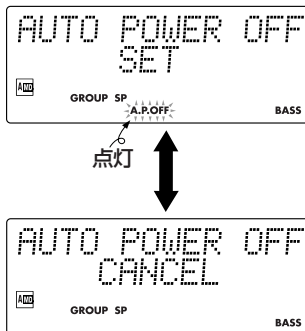
● 設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になり、目覚ましタイマーの開始時刻で電源が「**入**」になります。

オートパワーオフ機能

本機には「ラジオ」以外のソース(音源)の無音状態が 3 分続くと、自動的に電源が「切」になるオートパワーオフ機能があります。操作は「ラジオ」以外のときにします。

● ソース(音源)が「ラジオ」以外のとき

1 オートパワーオフ **を押す**

・押すごとに「オン⟷オフ」に設定できます。

● **オートパワーオフ機能を「オン」に設定すると**
「A. P. OFF」表示が点灯になり、ソース(音源)が「CD、MD、 AUX」のとき録音・再生が終わり無音状態になるとオートパワーオフ機能が動作します。このとき「A. P. OFF」表示が点滅に変わり、何も操作をせずに 3 分無音状態が続くと、自動的に電源が「切」になります。

・電源が「切」になる 20 秒前から

「切」になるまでの時間
(カウントダウン表示)

が表示されます。

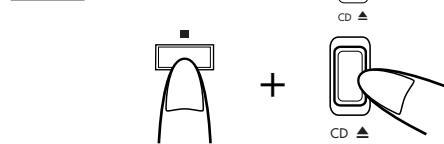
〈お知らせ〉

● オートパワーオフ機能は、一度「オン」に設定すると記憶されています。次に電源を入れたとき、再び無音状態が 3 分続くと自動的に電源が「切」になります。使用しないときは「オフ」にしてください。

チャイルドロック機能

CDドアが開かないようにしたり、MDが出てこないように電子ロックすることができます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

1 POWER **を押して電源を「切」にする**

2 ■ **を押したまま** CD ⏏ **を押す**

・同時に押すごとに「オン⟷オフ」が選べます。

LOCKED　：チャイルドロック「オン」（CDやMDの取り出しができなくなります）

UNLOCKED　：チャイルドロック「オフ」（お買い上げ時の状態です。CDやMDの取り出しができます）

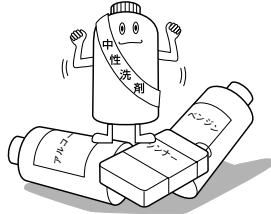
● **チャイルドロック「オン」に設定すると**
CD⏏、A MD⏏またはB MD⏏を押すと「LOCKED」が表示され、CDやMDの取り出しはできません。また電源「切」のとき押すと、「LOCKED」を表示したあと電源「切」を継続します。

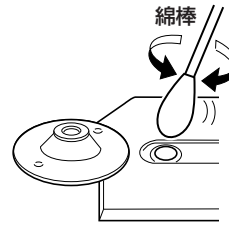
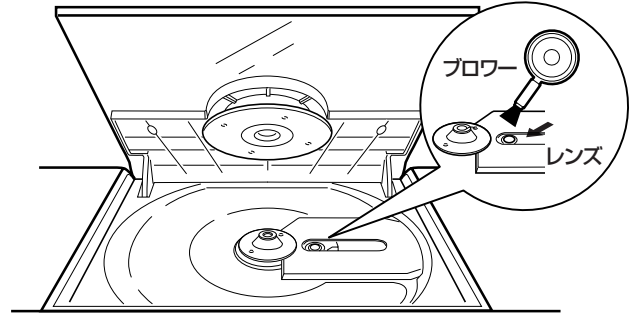
お手入れ

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

お願い

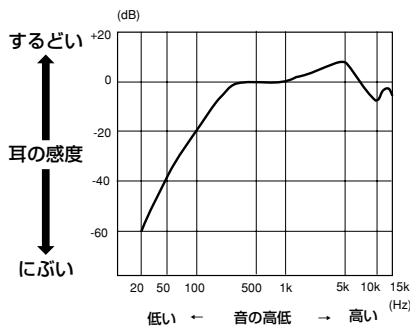
- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

CDプレーヤーのレンズの清掃

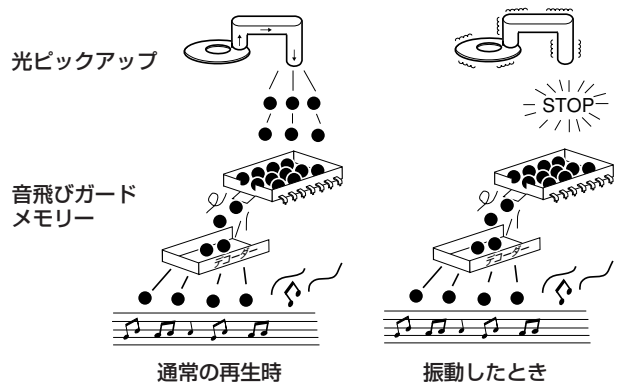
レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。
CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。
- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

- 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。

MDの技術解説

ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）

音の中には、実際にはよく聴こえない音が混ざっています。例えば、音が小さいときは低音や高音は聴こえにくくなります。また、大きい音と同時または直後に小さい音が鳴ってもその音は聴こえません。MDでは、〔ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）〕という技術を使って、こうした人間の聴感特性に基づき音を取捨選択することによりデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータは元のデータの約1/5の量になり、小さなMDにも収めることが可能となりました。さらにATRAC 3 の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

音の高低と耳の感覚

音飛びガードメモリー

MDを再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能「音飛びガードメモリー」が働いています。この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープやDATとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。 （録音可能な最大トラック数は254曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、１曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下(SP：標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

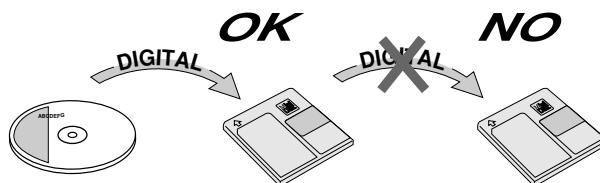
MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル·コピー·マネージメント·システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

（シリアル　コピー　マネージメント　システム）

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、MDなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎03−5353−0336（代）

ご注意
この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器でデジタル録音することはできません。

4倍速録音/2倍速録音に関して(HCMS)

録音用MDは等速を超えるスピードで録音（コピー）することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDから一度４倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の４倍速録音はできません。等速録音はできます。
例えば、CDの1曲目を４倍速録音した場合、４倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに４倍速で録音することはできません。また、CDから４倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲以上録音することはできません。99曲までの録音をすることができます。
また、MDから一度倍速録音すると、そのMDの録音開始から 74分が経過しないと、そのMDの二度目の倍速録音はできません。なお、倍速録音が開始してから 74分以内に録音できるMDは 5枚までです。

故障かな？と思う前に

－おや？故障かな？と思ったら…
修理に出す前にもう一度お確かめください。－

	症　状	原　因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	音がでない。	・ヘッドホンがつながれている。	・ヘッドホンのプラグを抜く。	13
	表示窓の時刻表示が点滅している。	・1分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。	・時計合わせやタイマーの予約をし直す。	14
CDプレーヤー部	演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	20
		・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	特定の個所が正常に演奏できない。	・CDにキズがある。	・CDを交換する。	•
MDレコーダー部	演奏が始まらない。	・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	録音ができない。	・MDが誤消去防止状態になっている。（DISC PROTECTEDが表示）	・MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。	8
	編集操作ができない。	・再生専用のMDが入っている。	・録音用のMDを入れる。	•
チューナー部	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	・アンテナが接続されていない。	・アンテナを接続し、最も受信状態が良い所に設置する。またはアンテナの設置場所を変える。	12
		・テレビやOA機器がそばにある。	・テレビやOA機器などから離す。	•
タイマー部	タイマーがスタートしない。	・現在時刻が合っていない。	・正しい時刻に設定し直す。	14
		・タイマー表示（⏻）とタイマー番号が表示されていない。	・リモコンの**時計/タイマー**ボタンを押してタイマー表示（⏻）とタイマー番号を表示させ、SETボタンをくり返し押して再設定する。	55
リモコン	リモコン操作ができない。	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池（単3形）と交換する。	11
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない状態にする。	11

● 上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、5分程度待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

「ERROR!」が表示されたときは

● 表示窓に「ERROR!」が表示されたときは、本機の故障です。電源を「切」にしてから電源コードを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りにビクターサービス窓口に修理を依頼してください。

お願い

● 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。
● 本機の故障または不具合等により録音、MDおよびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

●MD(ミニディスク)のメッセージ表示一覧

メッセージ	意　　味	処　　置
READ ERROR	MDが異常(損傷している)。	MDを取り換える。
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲または8秒以下(SP:標準モード時)の短い曲をつなげようとした。	8秒以下の短い曲はつなげません。これはMDのシステム上の制約です。
	離れているグループをつなげようとした。	➡49ページ参照
LOAD ERROR	MDの挿入がうまくできなかった。	A MD▲またはB MD▲ボタンを押したあとMDを入れ直す。
BMD DISC FULL	MDの空き時間が足りない。または曲番号が254を超える。(254曲まで録音可能)	他の録音用MDと取り換えてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)ボタンでいったん停止してから操作しなおしてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	CD-ROM（ビデオCDなど）をデジタルダビングしようとした。	録音を中止してください。
BMD PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDと取り換えてください。
GROUP TRACK	すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでグループを作る。➡47ページ参照
CANNOT ENTRY	すでに登録されているグループに登録しようとした。	登録先のグループを正しく選ぶ。➡48ページ参照
CANNOT TITLE	MDにトータル1792文字を超えて入力しようとした。	これ以上のタイトル入力はできません。
CANNOT GROUP	グループに関する情報量の制限を超えている。	これ以上のグループは作れません。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
CANNOT FORM	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように、正しく曲を選んでください。➡47ページ参照
AMD RANDOM CANNOT REC!	A MDがランダム演奏のモードのとき録音しようとした。	ランダム演奏のモードでの録音はできません。
HCMS CANNOT COPY	4倍速または2倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再録音しようとしたため。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つかまたは等速録音にしてください。➡59ページ参照

●CDのメッセージ表示一覧

メッセージ	意　　味	処　　置
CD DOOR ERROR	CDドアが障害物などで正しく開いていません。	もう一度、CD▲ボタンを押してCDドアを閉めてから障害物を取り除いてください。
CD CANNOT PLAY	演奏できないCDまたはキズの多いCDを演奏しようとした。	ディスクを交換してください。
×4 CANNOT COPY	CDのプログラム演奏、ランダム演奏のモードで4倍速録音をしようとした。	CDのプログラム演奏、ランダム演奏のモードでの4倍速録音はできません。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

コンパクトコンポーネントMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または63ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

60ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　ー

別売のオプション品

・ヘッドホン：**HP-S55**
・オーディオミキサー：**MI-A40**（マイクロホン接続用）
・電源コード：**CN-325A**（長さ1.8m）
・整合器：**VZ-71A（75Ω／300Ω）**
VZ-74 A（300Ω）
FMフィーダーアンテナ：**CN- 511A（300Ω）**
・接続コード：**CN-201A**（AUX IN端子の接続用）
CN-203A
・CDレンズクリーナー：**CL-CDL**
・MDレンズクリーナー：**CL-ML**

■別売のオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。
■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0155)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋 S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮 S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-8526	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術ビル1F
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CS情報センター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル1F
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株) 松江 S.C.	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売(株) 鳥取 S.C.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1102

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

〈CDプレーヤー部〉

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

〈MDレコーダー部〉

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間	録音モードSP ： 80分 LP 2 ：160分 LP 4 ：320分 (MD80使用)
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC 3 (MD **LP**)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

〈チューナー部〉

受信周波数	FM：76.0MHz～108.0MHz AM：531kHz～1,629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

〈タイマー部〉

タイマー形式	3プログラム動作(オン・オフタイマー)、 1回使用/毎日使用の選択可能
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分
時計表示	24時間表示

〈共通部〉

スピーカー	9㎝(丸形×2)、4Ω
入力端子	AUX(ステレオミニ×1)、 500mV：LEVEL 1 250mV：LEVEL 2 入力インピーダンス47kΩ
出力端子	PHONES(ステレオミニ×1)、 25mW/32Ω 適合インピーダンス16Ω～1kΩ
実用最大出力	6W＋6W(JEITA/AC)
電源	AC100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源 入(ON)時32W 切(STANDBY)時1W
最大外形寸法	幅440㎜×高さ221㎜×奥行245㎜
質量	約6.6㎏

● JEITAは電子情報産業協会の規格による数値です。

・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

・リモコン(RM-SNSX77WMD)……………………… 1
・単3形乾電池(リモコン動作確認用)……………… 2
・電源コード(長さ1.5m) ……………………………… 1
・FM簡易型アンテナ …………………………………… 1
・AMループアンテナ …………………………………… 1

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
63ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 東京…☎(03)5684-9311 FAX(03)5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪…☎(06)6765-4161 FAX(06)6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0503 MOMOZKJEM